THE KEIJO NIPPO　大正八年十一月七日　金曜日　第四千三百四十六號　(一)

京城日報

(年中無休刊)

時間表

十一月六日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

條約履行著手と山東交渉開始

近く聲明を發せん‖山東鐵道沿線撤兵斷行

帝國政府は講和批准寄託を終了したる後直に條約の履行に着手すべく差當り山東還附に就き支那政府と交渉すべく聲明を發するに至るべし而して還附着手前順序として先づ山東鐵道沿線の撤兵を斷行すべきが撤兵後は支那警察官に於て當然治安維持に任ずべきも若し地方の狀態にして不穩なるに於ては駐屯の必要あるやも知れず併し我が政府は成るべく速に撤兵を實行する筈なり又支那政府が直接還附の交渉に應ずるや否や不明にして或は國際聯盟會議に於て決定するを欲する爲め彼我の交渉を拒絶するやも知れずと(東京電報)

條約效力發生期

十一月十一日に略定

陸軍省發表‖對獨講和條約の效力は十一月十一日を以て發生せしむることに略決定せるが當日巴里に於ては盛大なる儀式を擧げ公表すべし(東京特電)

桝本代表有資格

日本勞働代表桝本卯平氏は勞働委員會の審査にて有資格と決定したり(紐育電報)

英紙寺伯哀悼

英國諸新聞紙は寺内伯の薨去に對し一齊に哀悼の記事を掲げ弔意を表せり(倫敦電報)

オムスク政府危殆

オムスク政府は危殆に瀕せり(浦鹽電報)

東鐵ケ紙幣拒絶反省

東淸鐵道廳のケレンスキー札及びシビリスキー札受入拒絶問題は凡ゆる方面より猛烈なる反對を買ひたるは當然の事なりしが同局當局は其非を覺りて十月三十日附長官ラチーフ氏の氏名を以て次の布告を發せり

十一月一日最初の金貨留に對する換算率制定は技術上困難なるため第二百十二號の命令改定換算率即ち金建案全部の施行は暫時之を停止し施行の日は追て之を布告す可し

之に依り一時把羅經濟界を震駭したる改定換算率令は暫時其施行を延期さるゝに至れり該問題も一先づ落着を見たるは喜びに堪へず而して此延期は無期延期と思料して差支なかる可き理由あり(哈爾賓電報)

西伯利幣制憂慮

オ政府撤退と其の影響

オムスク政府がイルクックに撤退する事は愈々事實として現はるゝ如く西路に於ける過激派軍の勢力は侮るべからざるに似たり今後の形勢推移は之れを時日の經過に待たざるべからざるも若しオムスク政府の勢力失墜して遂に實力を失ひ別個の政府を見るに至らんかオムスク政府がケレンスキー政府時代發行の紙幣を廢札同樣に附したる如くオムスク政府の發行せる所謂赤札の前途も亦極めて危險なりと云はざるべからず果して然らば西伯利の幣制は愈々紊亂を來し惹いて在留邦人並に支那人等の受くる損害甚大ならん素より吾が政府に於ても相當の對策はあるべきが西伯利狀勢の轉化は憂慮に堪へずと某銀行家は語れり

正式任命を見たる 國務總理 靳雲鵬氏

靳總理正式任命

靳雲鵬氏は五日正式に國務總理に任命せられたり(北京電報)

靳總理財政苦慮

靳雲鵬總理は財政上多大の苦慮を拂ひつゝあり其の方針に就ては第一現狀維持第二收入第三借款を愼重にすることにて右に就き目下種々考策しつゝあるが要するに此の財政難を如何にして切拔くべきや何人も注目しつゝあり(北京電報)

東三省産米輸出許可

十一月一日より一箇年間東三省産米輸出許可さる手數料金は百斤に付一元にて右は財政部の輸出許可證を要す許可證下附條件は未だ不明なり(北京電報)

支那借款交附決定

幣制借款前渡として

支那政府より四國財團に對し二千四百萬元の借款を申込み來れるを以て倫敦財團本部に於て協議中なりしが最近に至り愈來春四月を以て支那政府に交附することに決定し幣制借款前渡として交附することゝなりたる旨其の筋に確報ありたり(東京電報)

勞働院設置

內相の提議

床次內相は社會局の新設と共に內閣直屬の勞働院設置の必要を認め過般の閣議に提出したるが其の際勞働院を內閣直屬とするには異論ありたるも一省內に設置するには政府に於ても異論なかりしが是れが所屬は內務農商務何れに決すべきかに就て未だ決定するに至らざるを以て內相は更に今後の閣議に於て是れが設置の件を提議すべしと(東京電報)

宮中午餐會

天皇陛下には山縣樞密院議長淸浦副議長以下各顧問官が講和條約審査に關し盡瘁せる功勞を思召され五日正午閑院宮載仁親王伏見若宮博恭王兩殿下を宮中千種間の食堂に召させられ前記諸官並に原首相以下各國務大臣波多野宮相內山侍從武官長正親町侍從長其他に御陪食仰付られたり(東京電報)

豫算全部決定

五日開會せし豫算閣議は六日午前二時過に至りて漸く終了閉會を告げたるが之にて來年度豫算は全部決定せり(東京特電)

日銀帳尻

四日現在左の如し(東京電報)

	千圓
發行高	一、一三三、一二七
限外發行	二〇三、三三三
貸出高	四二四、三五九

總督邸晩餐會

齋藤總督は六日午後六時三十分より官邸に於て晩餐會を催し故李王職長官子爵李載克、前長官子爵閔丙奭、故任贊侍子爵韓昌洙、同贊侍子爵尹德榮、國分次官外諸氏を招待する由

收入證書紙納付

府の使用料手數料及び其の他の收入を府に於て發行する收入證書紙を以て納付することを得るの途を開く爲め府制規則を改正したる旨七日府令を以て發布さるべし

鮮鐵滯貨

輸送は順調

最近朝鮮鐵の滯貨狀況を聞くに目下穀類及び木材石炭薪炭等の出廻り期に入り各線共多忙を極めつゝあるも幸ひに輸送狀況は順調なるため滯貨も是を前月に比するに三萬八百二十八噸の增加に過ぎず穀類の中重なるものは米五千二百十四噸大豆二千七百七十九噸豆粕三千六百三十四噸、雜穀二千五百二十四噸粟四千二百三十五噸にして麥は僅に[illegible]米は前月より滯貨噸數稍減じたるも他は何れも數增せり今全線に於ける穀類の滯貨噸數表を示せば左の如し

品目	京釜線	京義線	湖南線	京元線	總噸數
米	三六八	一三三〇	一五九八	…	三二九六
麥	六〇	二三二	二〇	…	三一二
大豆	一四五	一三〇〇	…	六〇四	二〇四九
豆粕	—	三六一四	—	二〇	三六三四
雜穀	一四	二五二〇	…	…	二五三四
粟	一三六三	二六二三	三六	三四	四〇五六

又其他千噸以上の滯貨品目は鹽、木炭、薪、石炭、木材、十管等にして全線に於ける滯貨噸數は[illegible]に左の如し

品目	京釜線	京義線	湖南線	京元線	總噸數
鹽	七〇四	一〇〇四	八二五	二三九	二七七二
木炭	五五	一六六八	…	四〇三	二一二六
薪	二三四	一三二七	一三五	九七二	二六六八
石炭	三七八	七〇二	七三	…	一一五三
木材	三一〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右の中前月より增加せるものは鹽のみにして他は多少減じ石材の如きは九月末千六十八噸ありたるが十月末には僅に五百九十六噸を示せり夫れに反し九月末七百四十七噸の[illegible]は著しく增加し十月末に至り千百八十四噸の數字を示せり例年十一月は出廻り繁忙にして滯貨夥しきも本年は牽引力強き機關車等增加の結果概して順調なりと云へり

兩行增資接近

鮮銀と殖銀‖增資額幾何

朝鮮銀行にては來る十二月二日より五日までに舊株未拂込金五百萬圓(一株につき二十五圓)を徵收する事に決定せしが以上を以て同行の資本金四千萬圓は

全額拂込濟み となるを以て豫て市場に於て觀測されつゝある增資の實現も愈々近づきせりと稱して差支へなからん唯その時期は歲末に之れを行ふ如き事は素より避くべきにつき結局明年二月廿日の株主總會に提案して株主の承認を得る事の財界の狀勢を觀て斷行するものと見て差支なかるべく而して增資額は倍額八千萬圓說と

一億圓說 あり果して何れに歸するかは豫斷の限りにあらずも同行重役の意向並に監督官廳の方針にて決定するものなれど今後同行の經營方針の發展と鮮滿洲財界の資金需要限度とを考量する時には西伯利の平定後同方面に放資を要すべき資金の無限なるに想到し更に

銀行券漸膨 の趨勢より見れば一億圓說多くの可能性を有するに似たり朝鮮殖產銀行は目下第三回拂込の徵收中にして右を終れば未拂込金は二百萬圓弱に過ぎず而も同行にては第四回拂込を年內に徵收するならんとの說あれば右は假りに信じ難く多分殘額の徵收は明年一二月の交にして鮮銀と同じく二月の株主總會に增資を提案しその決行も鮮銀と相前後すべし增資額は同行にても鮮銀と同じく二千萬圓並に二千萬圓の上にあり然も同行の[illegible]進展異常にして今後更にその膨脹の端倪し難き狀勢より見るに愈々增資とならばその三千萬圓說の實現は鮮銀との權衡より見るも期待して可ならん次に同行の

營業狀態 は急進的なるため一部より若干の批評を受け居れど利益の激增し基礎の逐日鞏固を來しつゝある事實に見[illegible]今後を通觀すればその政府の補給金の如き之を辭退するも配當の繼續は殆ど困難なかるべし

果樹經營狀況

朝鮮に於ける果樹園經營事業は年々著しき發達を爲し最近の調査に依れば五畝歩以上の果樹園經營者三千餘人其の經營面積二千七百町歩にしてこれを大正三年に比すれば經營者七百二十四人(即ち三割一分)經營面積四百八十五町六反三畝歩(即ち約[illegible])[illegible]增加の趨勢は十町歩以下殊に五町歩未滿の小面積經營のもの著るしく十町歩以上の大面積經營のものは却つて減少の傾向なり

商議逐鹿情勢 (京城)

鮮人側候補者

內地人方面に切込む

京城商業會議所の鮮人側選出議員の情勢は既に鮮人の財的實力の增富及び

經濟上の智能 の向上と共に此の逐鹿戰も一層激烈ならんと豫想されたるに果して昨今各候補の運動猛烈となり來れり而して鮮人側の一級戰は二名にて之れは商業銀行長趙鎭泰、漢城銀行專務韓相龍兩氏の選出は特別の事情なき限り動かざる所なれば其の餘の候補は何れも二級戰に於て相見ゆる者にて既に公然名乘りを揚げたる士に[illegible]萬燮、崔貴熙、白完洙、金漢奎、金應龍、金聖頤、芮宗錫、朱宅琡の八名ありて豫定人員六名を超過し居れば今後鎬を削るの激戰を見るべく而し內地人方面にも切り込み戰を演じ居り內地人側にても

取引上の關係 等を以て鮮人に對し投票をなすものも少からざる見込なれば此の方面にも著々運動怠らざるものあり但し以上候補者中米商人の多きは注目すべき一現象なり

初年兵受領

來る十二月一日入營すべき第十九師團第二十師團竝に鎭海灣重砲兵大隊の初年兵受領の爲め第十九師團よりは砲兵大尉可兒才市一等軍醫前田彥熊騎兵大尉又喜一等軍醫武藤豐藏工兵大尉久德知至の五氏は大阪に又第二十師團よりは騎兵少尉森茂樹一等軍醫茂木德砲兵中尉山本周太郎の三氏は門司に步兵中尉鈴木安世一等軍醫阿部俊市工兵少尉關兒久吉の三氏は廣島に又鎭海灣重砲兵大隊よりは砲兵大尉岩崎浦敏氏廣島に何れも近く出發する事となれり

興鐵株の公募

七日より十一日迄

東拓大倉古川を中心とする資本金五百萬圓の朝鮮興業鐵道株式會社にては七日より十一日まで內地は東京大阪朝鮮にては京城釜山平壤其他にて一萬株を公募する事となりしが同鐵道は(一)大資本家を中心勢力とせること(二)平壤順川間の地勢平坦にて敷設費低廉なる事(三)順川保留間の開放有望にしてその關係上本鐵道の營業振ふべきこと(四)興業方面に活動の餘地多き事業將來大いに嘱目され更に第一回拂込金は五圓の少額に留まる等の關係もあり各方面の贊成株申込殺到し人氣頗る揚り居れば應募は多くの超過を見るべしと觀測さる

龍山信用組合

秋季總會と今後の進展

大正四年八月定款の認可を得たる龍山信用組合にては其後業務順調に進展し去る九月を以て第一期三箇年の積立貯金を終了し更に第三期に入るを以て六日午後二時より新龍山幼稚園に於て秋季總會を開き業務の報告を爲したり定刻に入るや石原組合長戊申詔書を奉讀し同組合設立に盡力せる矢野前憲兵分隊長に感謝狀並に金盃の贈與を議したる後業務報告今後の向上發展に關し協議する處あり終つて宴會に移し[illegible]組合は[illegible]より併合の交渉ありたるも其後双方諒解し同組合と姉妹の關係の如く相提携し龍山の發展に資し更に下級金融界に貢獻する處あるべしと

有蓋貨車竣成

龍山滿鐵

[illegible]に於て製作中の有蓋貨車[illegible]五十輛の內五十輛竣成し夫々各線に配屬運用中なりと

住宅懸賞案

過般朝鮮銀行にて公募したる住宅懸賞案は最近審査を終り目下東京出張中なる美濃部總裁の手許に送附しある由にてその決裁あり次第發表すべしと

財界閑話

京城各銀行の預金はその順位が久しく鮮銀、一銀、殖銀、商銀と云ふ事になつてゐた▲所が此の春殖銀預金の躍進があつてから鮮銀、殖銀、一銀と云ふ順序に變り最近に至つてゐる▲然るに十月末に於ける銀行の帳尻を見ると更に順位の變化を來し鮮銀、殖銀、商銀と云ふ事になり四位に一銀落ちた▲乃ち商銀は十月十五日の現在五百七十萬圓から月末七百四十七萬圓に殖え第一銀行の七百十七萬圓に比すれば三十萬圓ばかり多い▲これは殖鐵拂込金の關係で何かの激增らしく追々しからずして減るのらしい然し景氣の好い數字だ▲ナーニ七百萬位の預金はすぐ京城で作れますよとは同行當局の氣焰▲銀行の營業振りと云へば京城各銀行の貸出總額は前月末九千二百萬圓と云ふ新記錄を作つた▲各銀行で金融調節に意を用ゐても年末までに一億圓臺を突破するだらうとの觀測は內輪だ▲唯貸出增進の割に預金の增加が捗々しくない然し朝鮮のような新開地としては止むを得ぬ事であらう▲百三十銀行は手堅い銀行で又すべての業務が極めて迅速便利であり位置も市中の目貫きであるのにどうも業績が振はぬ▲河井前支店長時代から見て顧客が逆に行つてゐるやうな狀態さへ見ゆる現支店長の一考を望みたいと云つてゐる有力家もある

林長官入城期

關東廳長官林權助男は既報の如く四日午後七時東京發大阪一二泊の上朝鮮經由歸任すべきが入城期は八日頃なるべしと

濱田副議長入城

衆議院副議長濱田國松氏は六日朝釜山より入城天眞樓に投宿直ちに總督府其他を訪問し午後七時五十分南大門驛發列車にて釜山に向ふべし

◎鮮銀券日報

十一月五日現在左の如し

發行高	一二九、三六九、八六九
正貨準備	六〇、二六七、二四八
保證準備	六九、一〇二、六二一

人事消息

▲本木辯護士 五日大邱、釜山へ

▲時實秋穗氏(忠南道知事) 六日朝入城山本へ

與改正に關する主旨を徹底せしむべく近く京釜線に向け出張訓示を試むべしと

▲中川滿鐵地方部長 五日夜入城朝鮮ホテルに入りたるが一泊の上七日朝十時發東上すべし

▲龍山中學校生徒三百四十名 七八の兩日に亘り水原開城及び元山等に修學旅行すべしと

▲山內靜夫氏(兵器局器材課長工兵大佐) 滿洲よりの歸途五日夜來城

▲橫澤高記氏(步兵第七十八聯隊附少佐) 陸軍特別大演習陪觀の爲め六日發歸東

▲佐々高裕氏(步兵第七十九聯隊附少佐) 同上

▲鎌田彌彥氏(北京駐剳步兵隊長中佐) 六日來城七日發內地へ

其の日其の日

◇米國勞働界の不穩は、日に日に甚だしからんとし、ウイルソン大統領の協調も、遂に其效なく、[illegible]に釘と化し、最早堂々と勞働者と政府との戰ひとなれり。今回罷業の中心は、石炭坑夫を以てするも、之れが波及する處、全米勞働界に一大惡影響を齎さん事は、敢て疑ひを要せざる也。米國に於ける石炭缺乏は、總ての機能に利及一般の、關なくんば非ず。總ての社會を死地に投ずるに等し、而も現在に於ける米國の貯炭量は、僅々漸く二箇月を支ふるに足るのみと。嗚呼危い哉。

◇オムスク政府は、愈々イルクックに撤退するもの、如し、我對オムスク政府の方針は門外漢の知る處に非ずとするも、米國が頻りに同政府の後援をなしつゝありしは、吾人既に知る處也。最も滑稽なるは、最近米國がオムスク政府に送りたる武器をセミヨノフが沒收せんとして、セ軍對米國の睨み合を演じ、漸くセ軍の讓步を以て、無事通附を終るや、忽ちオムスク政府の撤退を報ず。元來オムスク政府が過激派に武器中繼の姿なりしは、一種の喜劇として、世上の笑ひ物となり居れり。其後援者の入れたる力瘤も、斯くては遂に挨拶と化せんのみ。遊英若しき是を知りて敢て行ふは、間接に過激派を利する者なりと謂はざるべからず。

◇近時英米の帝國主義者のなす處は、戰前の獨逸に似たり。議會に於ける社會黨の勢力最も大にして、社會政策の最も完備せしは獨逸也。由來帝國主義と社會政策は不可分の關係を有す、米の賢明なる政治家が、窃に敢て之れを行はんとする、又故なきに非ざる也。就中現世界に於ける帝國主義の最も雄なる者は、濠洲首相ヒューズ君を指さゞるべからず。君の產業保護政策、營利取締政策を見るに、ビスマルクやウイルヘルム二世の夫と全然其軌を一にす。社會政策なき我が帝國のお隣に、此組織的新帝國を控ふるは、洵に皮肉の觀に堪へざる也。

織物は產地の織元へ

桐生織元から買へば五割安

物價は何でも高いかと云ふ時に少しでも割安に買ふのこそ家庭經濟の上に非常に損德が有升全國唯一の桐生織物元捌所は織物地の多數商人の手を經ず直接皆樣に販賣致升故非常に廉價で有升

織元から買へば五割安い

純絹 大島絣 特製 十二圓 並 九圓半
銘仙絣 實用 甲 九圓半 向 乙 八圓半
縞銘仙 特製 上 八圓半
特製純毛セル 本毛セル 雨毛セル
セルには袷衣、袷羽織及び
ハカマ、ドンス羽織裏
金紗縮緬大巾 金紗縮緬中巾 兵兒帶 桐生縮緬 兵兒帶同
クレープ絞兵兒
流行友仙 朱子女帶
珍柄黑朱子 縫模樣入

御注文は男女の別年齢を記入キで申込ば代金引替便で送る一不向の時には交換又返金致升

(定價表進呈 郵券二錢要)

群馬縣桐生町 桐生織物元捌所 電話四三一四番 振替東京四九七一四番

陸用舶用 瓦斯機關 發動機 付屬品

吸入 油

新品中古格安品多數

其他用品種々廉賣

フカシランプ マグネット

兵庫縣明石町 照會即答 島田貞二商店

公告

一、新營萬五千貫 右來ル十一月十一日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ

京城府

金網製造販賣

京城若草町九五番地

銅直幸一郎商店 (電話三二一八番)

宮內省御用

水道布設 煖房裝置 衛生設備 諸器械 喞筒据付 工事設計 請負 附屬諸材料 輸入 製作販賣

TRADEMARK

須賀商會大連出張所

大連市監部通二丁目(露亞銀行前)

(本店)大阪(支店)東京(出張所)名古屋・京都・住吉・神戸・博多・京城・青島・[illegible]

(工作所)東京……大阪……神戸

船來

便利瓦中最優良品タル

マルゾイト

壹號品極割安販賣

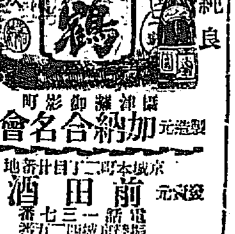
京城太平通貳丁目二八六

岩出京城出張店 電話一六〇七番

大日本優等淸酒

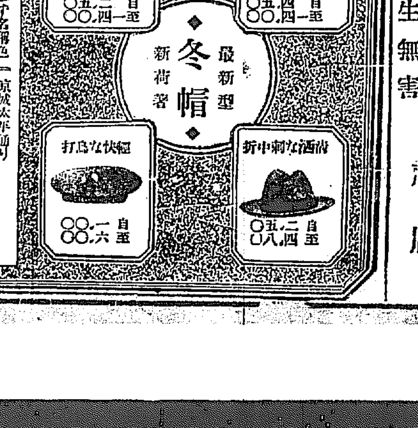
ハクツル

品質純良 衛生無害



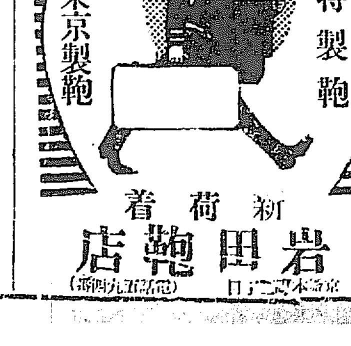
攝津灘御影町 製造元 嘉納合名會社

發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店



看板はフシノ工舍

サツポロビール專屬 工所京城本町三丁目 電話七三二番



書畫骨董諸道具競賣

今般都合に依り郷里へ引揚げ候に付小生在鮮三十餘年間に蒐集したる書畫骨董諸道具類を左記の通り競賣致候

京城 小出壯藏

一場所 京城永樂町二丁目 京城競賣株式會社

一時日 十一月八日(午前十時より下見) 九日(正午より入札及競賣)

未來の東宮妃良子女王 初の御參內

藤紫の羽二重御召海老茶の御袴こ云ふ御姿にて兩陛下に御對顏

蒔繪の御手箱を賜ふ

昨年東宮妃殿下に御內定本年六月十日正式に御婚約遊ばされし久邇宮良子女王殿下には其の後未だ一回も御參內無かりし處今回兩陛下の思召に依り御對顏の御通知あり女王殿下には藤紫の御羽二重に御召海老茶の御袴にて御母宮殿下御同伴四日午後二時三十分北御車寄より御參內御內儀に於て兩陛下に**初て御對顏**女王殿下には淑やかに御機嫌奉伺の御挨拶と共に勅許の御禮を言上せられ兩陛下には御機嫌一層麗しく種々懇なる御物語りあり皇后陛下には御可憐なる茶菓の御饗應に共に蒔繪の**御手箱其他**の品々を賜り殿下には末長く御記念あらせらるべく兩陛下に御禮言上の後母宮御同伴にて五時過ぎ御退出澁谷の御本邸に入らせられたる由承はる(東京電報)

最近の良子女王殿下

假死より覺めて

寺內伯薨去前語る 言々句々至誠の結晶

「陛下に對し奉り恐懼に堪へず」

寺內元帥が去月下旬一時危篤に陷りたるも病勢再び持直し同二十一日假死より覺めたる時寢たる面を擡げて左右を見廻し枕頭に座せる近親に對して斷片的に洩せる談話こそ至誠の結晶こも云ふべく元帥の**高き人格**を偲ばしむるものなりこて眤懇者は語る、昏睡狀態から覺めたる伯は言語も極めて明晰に近親に向ひて『此處は一體何處だ』こ尋ねたから『大磯の別莊の方です』こ云ふこ伯は頗る意外の面持にて俺は一旦**死んだ樣**な心持がした、兎も角斯うして病床に呻吟して居るのは一身を陛下に捧げた自分こして恐懼の次第である』こ云ひ夫れから話頭を首相在職當時に變じて『俺が新根方面に祕密を試みたのは間違ひであつた又斯うして大磯に居るのも間違つた苟くも**元帥府に**列する以上は營廠の下を離れるこ云ふことは甚だ心苦しい』こ述べて兩眼を潤した。又平井赤十字病院長を顧み『病院長は主治醫であるから引續いて來て貰はなければならぬが他の軍醫の方々はそれぞれ其の職務があるのであるから引取つて貰ひ度い。自分は**勅許を得**て居るが斯うして職務を妨げるのは心苦しいのである』こ云ひ最後に病床ながらも最も敬虔なる語調で陛下の御近狀を問ふた是は陛下の日光より御還幸後御禮の爲め參內しなければならぬけれども夫れが不可能であるのを**遺憾に思**ひ且つ大演習は明日も愈々切迫したのに扈從することの出來ないのも病中一層煩悶の種こなつたので甚だ不滿の面持であつた(東京特電)

特科隊の除隊迫る

何れもニコ〳〵顏

時局の爲め步兵の除隊は來年四月迄延期されたが特科隊は愈々來る十八日除隊に決定した。三年間無事に任務を全うした嬉しさは除隊兵の顏に微笑みの渦こなつて現はれる。昨日今日は唯もう飯盒の數があこ幾つになつたこ夫のみ勘定しては喜んでる。騎兵砲兵工兵の各隊では十七日莊重なる除隊式を行ひ同夜は三年間恙なく邦家の爲め盡したお祝ひこして糧秣委員が心盡しの御馳走がある筈である、本年の除隊兵は第二十師團特科隊のみが約二百名である

故寺內伯斂葬彙報

兩陛下御弔問 侍從及び主事御差遣

畏き邊にては六日午前九時寺內伯邸御弔問こして海江田侍從、皇后御使こして三宮戶主事を御差遣あらせられたり(東京特電)

祭粢料 六日御下賜

故寺內大勳位に對し六日優渥なる祭粢料御下賜の御沙汰あるべしこ(東京電報)

東宮御使差遣 各皇族御弔問

畏き邊より御料理百人前御下賜ありしが東宮殿下にも五日午前十時龜井侍從を御使こして伯邸に遣はされ御弔問を賜はり閑院宮殿下には親しく御弔問遊ばされ前に御燒香を賜はり梨本宮同妃兩殿下には五日御料理百人前を御見舞こして賜りたり(東京特電)

陪柩者 顏觸決定す

寺內伯葬儀當日の陪柩者は淺川立花波邊長岡各中將、目賀田男大島大將、山縣伊三郎氏、鶴田

東宮職總監、宇佐美前內務部長官岡田良平氏、入江檢府書記官、岩田法學博士、野村子爵外二十名なり尙ほ六日午前十時閑院宮殿下には御弔問のため御來邸あらせらる(東京特電)

埋骨式 山口公會堂で

寺內伯の遺骨は十日朝東京發東十一日午前九時四十九分山口著山口公會堂に於て盛大なる埋骨式を執行の筈(山口電報)

婦人參拜希望

七日大和町憲兵隊司令部構內に於て擧行さるべき故寺內元帥葬式には一般の參拜差支無き由なるが從來兎角婦人は斯る場合に於て遠慮勝ちなるも主催者側にては婦人の來會をも希望すこ

門司の檢疫 近く撤廢か

去る八月以來滿鮮滿洲支那各地に蔓延せし虎疫の爲め內務省にては是れが內地侵入を防止すべく流行地を指定してそれより內地各港に入港する船舶に對しては嚴重なる檢疫を行ひつゝありしが近時漸く終熄に近づきつゝあるを以て大連青島の二港は解禁されしも他は未だ解除されず門司港務部にては依然檢便檢查を實行し居れるが昨今寒氣著しく加はり虎疫も愈々終熄の模樣なれば朝鮮臺灣上海各地より入港の船舶に對しても近々檢疫解除に至るべしこ(下關電報)

賊こ格鬪 刑事傷く

平壤本町平壤府廳水瀨通譯生方へ四日午後十二時頃二人組の賊忍び入り同家を立ち出で逃走せんこしたる處へ平壤署中村刑事がその隣家なる自宅に歸らんこせるに會し中村刑事は二人を誰何したるに賊は其儘逃走せんこするより刑事は已逃さじこ一人の賊を組み伏せたる處賊も去る者こて之に反抗し茲に大格鬪を初めたるが賊は適はじこ思ひてか矢庭に隱し持てる短刀を拔き放ちて之に立ち向ひ強硬に抵抗したるがこの物音に永瀨通譯生は立ち出で、刑事に應援し益々大立ち廻りを初め敵も味方も互に負傷したるが遂に賊は組伏せられ逮捕せられたり尙一名の共犯者は逃走したるを以て目下嚴重搜查中なりこ(平壤)

十六年勤續の消防手 表彰さる

京畿道第三部所屬常備消防手巖崎啓六は明治三十六年二月京城消防組消防手こなり同四十三年三月常備消防隊に轉じ勤續したるものにて實に十六年以上に達する精勤者なりしが病氣の爲め今回退職に際し第三部長より在職中の勤勞に對し特別賞與金並に銀盃一個を賞與し之を表彰せられたり

幹部演習開始

步兵第三十九旅團の幹部演習は愈々七日より實施する事こなり統裁官井戶川旅團長は五日夜入城せり淨法寺師團長は幕僚を從へ七八の兩日右視察の爲め水原地方に出張の筈

本月下旬決行か

羅馬東京間大飛行 ダ氏は飽迄飛ぶこ云ふ

羅馬東京間の飛行に關しダヌンチオ氏の選定せる飛行家の大多數は恐らく十一月下旬ダヌンチオ氏を除きて飛行を敢行するに至るべし尙ほ傳へらるゝ所に依ればダヌンチオ氏は右飛行の爲めに伊國政府より支出したる五百萬リラの半額をフューメ占領の爲めに費消したりこ云ふ又フューメに赴きたる一中尉はダヌンチオ氏に飛行の意志ありや否やを尋ねたるに氏は常に準備を爲し居れる旨を答へたりこ(巴里電報)

歡迎方法決定

關係者協議會の結果

本月十五日頃京城に來翔すべき伊國飛行機歡迎方法に就いては五日總督府に開催されたる各關係者の協議に依り愈々左の通り決定したり

一、來訪する飛行機は三臺にして何れも二人の將校又は下士之を操縱す

一、來訪期日は未定なるも十一月十五日より遠からざる見込

一、準備の爲伊國將校一、卒二、十一月五日奉天より新義州に到著し用務を了し京城に急行する外に釜山に來る一行あり

一、航空隊よりは林少佐準備こして十一月七日夕京城來著の筈

一、京城に於ける著陸地點は林少佐來著軍及伊國領事館こ協議の上決定すべきも大體龍山新練兵場の見込

一、京城著陸地點の取締は龍山警察署憲兵分隊に於て軍こ共同して行ふ

一、著陸地點の設備は出來得る丈け軍にて施行す

一、著陸時間は朝新義州を發し晝迄に京城に著する樣伊國領事より交涉すること

一、著陸の上は將校の令孃、本府高等官の令孃及民間側の令孃各一名各機に花輪を贈り衞戍司令官及伊國領事歡迎の辭を述ぶること

一、著陸當日の日程左の如し

▲正午 軍司令官々邸▲夫より衞戍司令官を經て總督訪問(服裝は飛行機搭乘の儘の者とす)▲午後四時頃伊國領事主催にて『ホテル』に茶を催す▲歡迎晚餐會 官民合同歡迎會迄に時間の餘裕あれば市內巡見

一、當日自動車を準備すること

一、搭乘者六、準備員將校一卒二、に對し記念品を贈呈すること

一、歡迎會に於ては府尹歡迎の辭を述ぶること

花環贈呈の一令孃 民間側は未定

當日陸軍及び官民の各代表こして搭乘者に花環を贈呈すべき令孃は兒島陸軍中將松永外事課長兩氏の令孃に決定したるが民間側は猶未定なりこ

警備艦配置 釜山下關間に

ダヌンチオ氏の飛行隊は元來陸上飛行隊なるに就き釜山內地間の飛行には我海軍省に於て警備艦數隻を配置し萬一の場合に於ける變化に應ずべく掩護する筈にて目下種々打合せ中なり尙ほ京城に於ける飛行も元々興行的の者に非ざれば只其著發の場合に於て其飛翔を實見送迎するのみにて特殊の飛行は爲さずこ

過激派を掃蕩

セ軍と力を合せて 敵は死屍五百を遺して退却 拔目なき米國の經濟戰

本紙連載小說『生別死別』の筆者にして目下齊々哈爾在陣中の服部鵬月氏よりの十月十六日附書面の一節に曰く『昨夜降雪寸、一面の白皚々**白樺の葉**は全く落ち盡し日向に於ける氷さへ終日解けず今や西伯利は固有の寒氣の候こなつた。過般實施の我第五師團こセミヨノフ軍この連合よりて成るネルチンスクザオード及バグダツトスカヤ附近の過激派軍討滅は偉大なる**效果を收**め我師團は各部署に復歸しセミヨノフ軍は目下追擊續行中である。我軍の損害は至つて輕微であるが只當淵里より向つた支隊は敵の主力の退路を扼して苦鬪を交へたので某中隊の如きは幹部全滅の悲運に際會した然し**敵は死屍**五百を遺棄し且つ二門の大砲こ數十輛の麥粉こを我軍に與へた。チエツク軍は愈々本國歸還に決したらしいが、是より先既に戰意なく露國側の受けも餘り好くなかつたやうである。米軍も自國の都合上から撤兵を決行するやに見受けられるが行きがけの駄賃に**聯合撤兵**などの提議を爲し露國側こは既に薬に感情の融和を缺いで居るやうに見ゆる一面に於ては撤兵を唱へ一面に於ては經濟上の發展に拔目なき點が見えるばかりで西伯利に流入する物資の大部分は米國の**勢力下を**潛つて來るの觀がある、特に張家口から庫倫を經て或は自動車に或は駱駝に或は普通牛馬車にて西伯利に入る莫大の物資は殆ご米國の手を經ぬはない』云々

仁川公商生徒不穩

當局は一步も假借せず

仁川公立商業學校生徒は客月三十一日天長の佳節に登校せざるの協議を遂げたる形跡の認めらるゝものあるを以て學校に於ては十一月三日[illegible]三年生九名及び二年生[illegible]名に對し停學を命じ[illegible]

電車衝突

乘客四名負傷

六日午前七時十分頃光熙門發往十里行電車七十五號が黃金町七丁目派出所附近の轉轍所に差掛りたる際往十里發光熙門行電車八十七號が突進し來り危やこ見る間に七十五號に衝突し兩車共前面及び窓硝子を破壞したるが乘客四名が硝子の破片にて負傷したるより直ちに鐵路病院に擔ぎ込み治療を加へたるが負傷は何れも輕傷なる由

滿鐵劍道大會

龍山滿鐵社友會武術部にては來る九日午前十時より鐵道武術場に於て秋季劍道大會を開催するに由なるが地方よりも多數の劍客參集すべく猶當日は源平試合終了後有段者の三本勝負もある筈出場者は何れも鐵腕を叩き勇躍して當日の來るを待ち居れり

成歡の賭博

忠淸南道成歡金福泰、宋昌化、池用根、方志元、李用星の五名は同地の無賴漢にて常に賭博を業こし或は酒色に荒し婦女を凌辱するなど一般の手に負へざりしが客月二十日頃右五名が賭博開張中なるを探聞し成歡駐在所金巡查は數名の應援を求めて右五名を檢擧し取調べの結果罰金各百圓に處せられたり

麻浦檢疫廢止

開城仁川地方の虎疫猖獗當時龍山警察署にては萬一を顧慮し麻浦に檢疫所を設置し嚴重なる檢疫を實施し來りたるが最近殆ご虎疫終熄したるを以て六日限り廢止したり

危險

六日午前八時二十分頃[illegible]廳前及光化門郵便局前停留所行き電車四十一號が專修學校前停留所にて停留せんこする刹那內資洞七十四番地文信月(三)が飛下り過つて打ち倒れ右腕に打撲傷を負ひたり

五九郎一座 大人氣

後三四日で打揚げ 黃金館へ

開演以來連夜大入氣を喚びつゝある俳優五九郎一座は本紙の讀者優待に依つて更に一段の人氣を加へ昨夜の如きは大入りを占むるの盛況であつた。尙今晚あたりは溫かい氣候に觀劇氣分を唆られて黃金館へ黃金館へこ押しかける人が多いことであらう何しろ後三四日經てば折角の五九郎一座の面白い喜劇も觀られなくなるので愛劇家は此際本社の讀者優待券を利用されんこを望む

金光教大祭

本町二丁目金光教京城教會所にては例年の通り來る九日(日曜日)午後二時より教祖大祭を執行する筈にて信徒約一千名それ〴〵案內通知を爲したるが當日は例により最も莊重に祭式を執行し式後說教會の催しあり且つ年來養成しつゝある吉備樂吉備舞も一段進境を觀るに至り本年は一層古雅に靜優なる奉納ある由大方の參拜を歡迎するこ云ふ

高女音樂會

京城公立高等女學校にては來る十九日(日曜)午後一時より同校講堂に於て音樂會開催の筈

▲敬遠▲可學 みのや京染店 京城大和町 長電一四六二

狩獵大會

朝鮮獵友會にては來る九日京釜線軍浦場以南に於て秋季狩獵大會を催す由

『一荷の水』梗概

今晚黃金館に上演

今晚から黃金館上演の替り狂言の中『一荷の水』は上流家庭の空氣を諷刺した最も面白い喜劇であるが其梗概を紹介すれば數十萬圓の遺產を擁した獨身の令孃が養子を貰つて持前の我儘こ剛情な道樂なく發揮するの慾の爲め奴隸扱ひにされても服從するに引かへて意久地のない養子は物質の慾の爲め奴隸扱ひにされても堪へ忍むで妻の歡心を買ふ事に之れ努めて居る 所へ養子の兄が田舍から遙々出て來て此の有樣を觀て弟の意久地なさ加減に呆れ横暴な妻は當方から離緣して實家へ歸れこ無理に弟を引取つて實家へ連れ歸る。跡で前非を悔いた夫人は良人の實家を訪れ自分の非を悔い改めた物語りこ共に彼は農夫の肥桶に入れた一荷の水を運び、弟の妻に抵へさせ命令する。嬌慢な心から眞面目に還つた夫人は美服を脫ぎ捨て甲斐〴〵しく[illegible]

同情

鍾路小學校職員故宮川萬藏氏の遺族に對する同情金は其後も續々到著しつゝあるが本社以外鍾路校に對しても左の通り寄附方申込ありたりこ

金五圓古城梅溪▲金三圓吉崎文作▲金二圓無名氏▲金三圓藤田よし子

灯頌

遷化した釋宗演師が先年歐洲巡遊の途に上つた時苟くも一派の管長法衣で押し通さうこ紫の衣を著けて船に乘つたは好かつたが▲大洋へ出ると不思議や紫衣は忽ちボロ〳〵になつて了つた▲原因は潮風に吹かれた爲こ解つても永の旅路、外國で法衣新調も出來ず流石の老師も兜を脫いで洋服を著たさうな▲野田大塊遞相武時職人こ內閣豫供談の際『カンジョウは不可』こ云ふので其人も憤然こして『感情家は不可ませんナ』▲『イヤ感情家ではなかタイ、カンジョウの事ぢや』如何程押し問答しても不得要領▲遂に紙を取出して書附けるのを見ると『官僚』毎度ながらお愛嬌の事である

第六回婦人見學團

陸軍側の好意にて龍山營內見學

時局こ惡疫流行にて延期せし本社主催第六回婦人見學團は愈々本年最終の擧行こして左の見學を主催す奮つて諸姉の參加を乞ふ

時日 來る十四日午前正九時迄に新龍山步兵第七十九聯隊營門前に集合の事

見學 步兵營內兵士の起居動作給養の狀況=傷病兵應急手當(家庭にも應用さる可きもの)=被服倉庫の整頓振(何千何萬こ云ふ夏冬の衣服が如何に整頓されあるか家庭にても斯の如き整頓を要すべし)=縫靴工場の模樣(兵隊のお針)=酒保(兵隊娛樂の狀況)=炊事場=以上は將校より一々叮嚀なる說明ある筈 晝食休憩=午後一時より特に陸軍よりの好意を以て特科隊の演習あり先づ騎兵の壯烈なる襲擊=工兵の地雷爆破=野戰電話架設=機關銃隊の陣地占領=血湧き肉躍るの壯觀を見最後に新設無線電信所を見學し臨時解散す

申込 締切 會員は三百名限りなれば速かに申込まれたし十三日午後一時

例により申込者は往復葉書を用ひ『復』の分にも直ちに發送し得る樣住所氏名を明記せられたし且つ『復』の分が會員證こなり營內見學證こなるが故に必ず紛失せざる樣當日御携帶を乞ふ辨當は各自御持參茶湯等は撥食所に用意あり

主催 京城日報社

小切手泥棒

島根縣生[illegible]

仁川期米

[illegible]

天氣 晴一時雲

黃金館開演中

喜劇界の名物(一枚二人通用) 五九郎一座

京日 讀者優待券

	普通入場料	割引入場料
特等	二圓五十錢	二圓
一等	一圓七十錢	一圓二十錢
二等	一圓二十錢	七十錢
三等	七十錢	四十錢

京城日報社

演藝案內

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 番組改 當る拾一月七日より提供映畫 ○○喜劇マックスの大冒險 貳卷 米國ヴァイタグラフ會社特作映畫 社會劇 正義の車 全五卷 名優ドロシーケリ嬢、ジュムス、モリソン氏出演 ごんな偉大な人物でも一種眼に見えない運命の線に操つられ大なる宇宙の一分子でしかない人間がいくら焦つても定められた道の外に一歩でも步けるものではありません。本篇の主人公「ラルフ」の生涯が適確に夫れを證明してゐます

日活京都派本年十月新規撮影 喜劇 佐原の喜三郎 義理と云ふもの、前には深山の財產も虛名も殺身の價打もない喜三郎は立派な物持の相續者に生れながら放蕩に身を持崩して無職の世の長脇差の一佐原の喜三郎となつた大親分として遂に一宇を構へ男の面目は○松之助の始めての武者振によつて面白く描かる 年中無休晝夜開館

浪花館 京城明治町 電話二六〇 浪界の綱紋鑑 中軒富士右衛門一行 當る廿七日午後六時開演 ▲義士銘々傳 桃中軒富士丸 ▲浪花の色鳥 桃中軒小富士 ▲水戶巡遊記 吉川八重勝 ▲武士道の戀 吉川秀廣 ▲金門北路の梅 立花龍山 ▲宗吾神社由來 ▲義烈百傑傳 二席 富士右衛門

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 ◎實寫 白熊狩 長尺 ◎ニコ〳〵劇 幽靈畫工 全貳卷 ◎米國インス會社特作 人情活劇 火の海 全六卷

宇都宮釣天井 本映畫は我國劇界に其人ありと知られたる早川雪洲、青木鶴子の兩人主役となり有名なる米國俳優フランクボーザ氏等と共に稀らしき發の實況を背景に[illegible]

御婦人方の大福音 十字宮血の道に惱む御婦人は彼是と迷はず回血湯を召し上れ

敗毒丸 梅毒りん病妙藥 本舖 大連信濃町八十二號地 本田金生堂 各地到る處の藥店に販賣せり

西洋アンマ膏

公告 一、木造瓦葺平家朝鮮建壹棟外五件 右來ル十一月十日午前十一時入札ス 希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ 京城府

解雇廣告 店員 西森清 同 相川政一

大養帳簿製造所

時計指環眼鏡御婦人頭飾品 京城本町一 [illegible]時計店 電話一二〇一番

新田帶革 朝鮮總代理店 仁川本町 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店

畑硝子工場

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

第五版

滿洲と卷煙草 向ふ數箇月間の品拂底

滿洲に需用されある貰は主として東亞煙草會社、英米トラスト、南洋兄弟商會の製品にして、滿洲內に於ける東亞會社其他の工場の製品は重に兩切紙卷煙にして口付は殆んど製造し居らず、而して在滿邦人間に最も多く需用されつゝあるは東亞製朝鮮工場製造の朝日と敷島 其他口付品なるが、朝鮮總督府は八月一日以降朝鮮內製造の煙草輸出を禁止したる結果滿洲に於ける口付煙草の唯一供給の途を失ひたり、其後東亞會社は滿洲に於ける煙草の需給の狀を具して其緩和方に付 き種々總督府に懇願する處ありしも遂に効を奏するを得ざりきされど之が補給を日本內地に仰ぐが如きは需給の關係上之亦殆ど不可能なるより東亞會社にては奉天營口、天津等の同社工場に口付煙草製造を爲すべく步を進めつゝある如きも機械の据付其他準備に相當の日子を要すべければ滿洲に於ける口付煙草は向ふ數箇月間は品拂底を免れざるべしと云ふ（大連）

木炭と慶南 需給、炭價調節の爲め

慶尙南道廳に於ける木炭の需給及び之が價格調節に關し第二部長より左記の通牒を各府郡に發せり（釜山）

木炭の需給調節に關する件

本年の木炭需給關係は內地炭の移入比較的僅少なるを以て不足を生ずるが如き事なかる可きも尙一部の不足又は價格の調節を圖る爲河東郡內大學演習林の木材拂下げを受け同所大字商店をして製炭せしむる事に致候條必要なる場合は適當の貴地商人をして同商店と取引せしめられ度及通牒候也

朝鮮開拓會社 資本金百萬圓

忠南公州、鳥致院、大田に於ける有力者發起となり朝鮮開拓株式會社を創立せんとし許可の申請をなしたるが資本金は百萬圓にして主なる事業は水利灌漑、市街地の經營にありと（大田）

滿洲米輸出

目下赤塚總領事より張巡閱使に交渉中なる奉天省殘餘米輸出の件は既報の如く北京方面よりの情報に依ば張巡閱使は目下日本は糧食拂底にて大困難を感じつゝある際なれば隣邦の友誼として其殘餘米を以て之が一部を救濟するは最も宜機を得たる者なるべしとの意味を以て北京政府に許可を申請したる爲め政府に於ても之れを諒とし營口より四百萬石大連より雜糧八百萬石の輸出を許可する事に決定せりとなるが之に關し奉天總領事館に於ても正式には未だ何等の確報なきも張巡閱使より非公式に我要求は貫徹し得べき形勢なる旨通知ありたりといへば該輸出は殆ど確定議と云ふを得べしされど輸出數量に至りては現在奉天省産米額は水稻米二十五六萬石陸稻米約五十萬石なれば到底前記の如き多數は不可能なるも尠くも二十萬石內外は輸出し得べき見込みなりと（奉天）

杭木會社發起會

安東縣其他の同業者により計畫中なりし資本金二百五十萬圓の滿洲杭木株式會社は滿鐵側の諒解を得同社の株式も既に確定せし模樣なれば二三日中發企人總會を開き具體的成案となるべし因に同會社の株式は滿鐵及び發起人賛成人に全部引受け公募せざるべしと（安東縣）

裡里に印刷會社

湖南線裡里には從來完全なる印刷業を營むものなく近時の發展に伴ない不便尠からざるより有志發起となり裡里に印刷株式會社を創立することに決し去る一日發起人會を開き會社創立に對する協議をなしたり（大田）

藥草の研究（大連）

滿鐵研究課の藥草研究は同社熊岳城農場と中央試驗衛生課となるが近來藥草の栽培事業は一般に注目する處となり殊に滿洲は自然生の藥草に富み此方面の研究は頗る大切なるものあるより滿鐵勸業課にては大いに之が試驗に力を致すべく中央試驗所の設備を整ふると共に熊岳城農場に於ても約二町步の各種藥草の試作を爲すべく來年度豫算中に二萬圓を計上したりと

緬羊配付（光州）

洗浦牧羊支場より全南に配付されたる緬羊七十三頭は麗水塚治三郎外四名へ卅二頭（內牝廿四頭）順天花子律治外四名へ四十一頭（內牝卅二頭）を配付されたるが羊種としてメリノ雜種五頭蒙古種五頭ありたりと

○咸南近海漁業不振 本月初旬大時化後の咸南近海漁況は依然として頗る不振裡に推移しつゝあり目下鰤、鯖、小鯖、鰯等來游し居れば鯖群來も近きにあるべし

嚴烈なる寒威を穴に 入りて避んとする西伯利の窮民

…本年の酷寒期には多數の死傷者を出だすべし…

西伯利歸客談に曰く目下過激派の治下を脫して戰線地方より來れる露國人避難者はオムスク以の大都會に雜踏を極め居れるが此等の都會には窒扶斯は蔓延し無數の不幸なる人民は筆舌に盡くし難き窮境に在るを以て冬季に入りては人民の窮乏及び死亡は一層甚だしきに至らんオムスク附近のみにても住家を有せざる者三萬人に達し而して寒威酷烈なる冬期は目睫の間に迫り彼等の多數は凍死を免れんと欲して今地中に穴を穿ちつゝあり西伯利の衛生狀態斯くの如き本年は未曾有の凍死者を出だすべしと（哈爾賓）

梁山伯祟へる 山神の祟りを恐れて

長白府から七八里を隔つる長白山下は人跡を絕つ森林地帶に梁山伯を極め込んでゐる鮮人の一團がある首領は洪範圖といふもので雄大な森林地帶の一角に蟠居してゐるが、彼等は寒くなると地中に穴を掘つて其中で避寒するのが例であつた所十月初旬大暴風雨の爲め此の穴居が崩壞して多數の壓死者を生じたので此の梁山伯連は之れを以て山神の祟りとなし何れもびく／＼もので居るとのことである（清津）

列車顚覆詳報（三） 公州嶺に於ける

此說にして果して事實なるに於ては助役及信號手の責任實に重大なると共に同驛より該ポイント迄徒步にて約七八分間ポイントよりストップ迄約百米突ある間に於て之れを發見せず發車と共に速力を出して進行せしめ既に氣付きたる際は最早如何ともするを得ざりし機關手の方にも亦不注意の點なしとも云へず要するに眞相の判明と共に總ての

疑問は 一掃さるべきも機關手の怠慢過失は別とし他の注意の行屆かざりし結果にも因るべしと傳へられつゝあり機關車がストップを突破前方の一間以上ある土手より墜落破壞し前部の三等客車が行に機關車を越して本線路上に顚覆し次の三等客車亦ストップに半ば乘上たる一刹那其反動により次の客車との聯結切斷されたると貫通制動機の切斷とにより殘部十餘輛は非常なる

大衝動 を受けたるのみにて危く顚覆を免れたるが阿鼻叫喚の一大修羅場を現出したる現場の慘狀混亂實に名狀すべからず急報により馳け付けたる驛係り員其他の人々は醫師及び看護婦と協力し重傷者は直ちに滿鐵醫院に搬入し輕傷者は現場に於て夫々應急手當を加へ一方現場の整理に努め本線路の復舊したるは漸く午前七時半頃なりしを以て無事なりし殘部車輛は長春七時發列車に聯結南行せしめたるが此の爲め三十日朝長春着列車は何れも約三時間の

延著を 見たるが同夜に至るまで猶現場は混雜を續け居たり墜落機關車顚覆客車の引揚げは遼陽よりクレインの到着と共に著手する筈なりと聞く猶機關手勝田勝二郞の所持品中より阿片約一貫五百目發見されたるが支那人或は日本人中の或者より密送を依賴されたるもの丶如く從來機關車の石炭の中へ阿片を隱蔽密送し不正の手數料にて私腹を肥すものありとの噂ありしが此の椿事にて亦もや其事實なる事判明するに至れり

九日夜高橋九二一、給客 同男雄、西田みか、同繁夫、同辰… 一等（三五名）近藤區一、前田秀… 谷村近之助、富水愛次、木下… 八木政五郎、久山まつ、同もと、中村武夫、山野梅四郎、同すゑ、田中…

油斷ならぬ 釜山の虎列拉

釜山の虎疫と云へば近頃では草場町か大新洞の不潔極まる鮮人部落が發生の地で患者は鮮人と限られた樣だが去る二日には市內日貫の本町五丁目四十六番地岩本素一の妻はる（三）が前夜から發病して吐瀉數十回遂に翌朝死亡して檢便の結果眞正と決定された尙引續き前記本場の部落からは七名の鮮人患者が出た斷く終熄に近づいたとまでは行かぬまでも下火となつたと思ふ矢先之れだもの仲々油斷が出來ないと府の衛生係や警察の防疫係では警戒をさ／＼怠りがない樣である（三日夕釜山支局）

防疫班解散 平安南道臨時防疫班

一夏以來虎疫流行の爲め設置した平安南道臨時防疫班は虎疫終熄と共に十一月四日限り解散し一同解散したり（平壤）

三寒四溫

▽農村の美談▽

鐵道に沿へる裡里に二里強、黃登に二里強の沃境に一里半強の沃郡瑞穗面瑞穗里の鮮人靑年は日語研究の到底忽かせにすべからざるを悟り本年八月上旬頃より日語を主とし其他の讀書の夜學を開始し目下會員三十名に達し熱心に勉學しつゝあるが遂に同地小學校は板倉角馬氏元巡査補たりし高梨等を感動せしめ夜學の教授をなし居れり而して又之を見たる川崎農場は冬季保溫を計るため籾摺場を夜學堂に提供して便を與ふる由尙又同地方一帶に於ける農民は內鮮人共に川崎農場備へ付けの太鼓の音に起床して仕事をなし仕事を終へ食後消燈等凡て軍隊式に勵行し居れりと實に頼母しき農村の美談といふべし（全州）

商況

株式

東京株式（至急電報）

銘柄	●六日第一立會	前電比較
東株	三八二、五〇	八、四〇安
同新	三八五、〇〇	六、〇〇安
鐘紡	一七二、〇〇	三、四〇安
一新	一六六、八〇	三、二〇安
二新	一三九、三〇	五、七〇安

大阪株式（至急電報）

銘柄	六日前場寄付	五日後引比較
大株	三六七、一〇	七、七〇高
同新	三五五、九〇	七、五〇高
郵船	二三二、一〇	一、〇〇高
同新	一三五、〇〇	一、九〇高
商船	一五一、〇〇	三、一〇高
同新	一三〇、二〇	、八〇安
鐘紡	三七四、九〇	三、九〇高
同新	三五八、六〇	三、六〇高
東紡	二七九、九〇	二、五〇高
東糖	一五九、六〇	……
堂米	一七七、〇〇	一、一〇安
上取	一九三、五〇	五、四〇高

京城現株（標準値段）

銘柄	△印賣買 標準値	△印下落 時價
仁取	一五〇、〇〇	一六八、〇〇
朝郵	一五〇、〇〇	四二、〇〇
電興	一五〇、〇〇	一八、五〇
皮革	五〇、〇〇	二五、五〇
東畜	二五、〇〇	一五、五〇
朝紡	五〇、〇〇	二八、五〇
朝紙	二五、〇〇	三七、〇〇
商銀	五〇、〇〇	五六、五〇
同新	二五、〇〇	一八、〇〇
滿毛	二五、〇〇	五五、〇〇
朝煉	五〇、〇〇	三二、五〇
鮮土	二五、〇〇	△二〇、五〇
東亞	三七、五〇	四四、五〇
殖鐵	權利	△四、〇〇
朝日	二五、〇〇	一三、五〇
安信	二五、〇〇	四三、〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	枚數
鮮銀新	一二一、〇〇	二二〇
殖産銀行	九七、五〇	二八〇
大株新	三四一、〇〇	二五〇
安東信託	四二、五〇	二六〇
東株	三八三、〇〇	一〇〇
新東	三六五、〇〇	一〇〇
東洋畜産	一六、五〇	五〇
朝鮮皮革	二五、八〇	五〇
殖鐵權利	四、五〇	三八九
朝鮮煙草	三三、五〇	一〇〇
朝鮮紡織	二八、五〇	一〇〇

新鮮銀買入氣

朝鮮銀行株は最近頓に買氣付き新株二百二十圓處の買注文續出し居れるも由當の賣物皆無にて盛んに內地へ買付け電報發せられ居る狀態なるが右は來月二日より五日に亘りて新株の第四回拂込み徵收する事となれるを以て同行の增資も愈々期近に迫れるものとの氣構へに依るなるべし

安東信託一服

安東信託は昨日四十五圓の突飛高を現出したる以來二三圓迄の買注文續出したるも氣先き一面五十圓處に一先づ天井を打たんとの氣迷ひ說生じ果して事實かなこせば五圓以上買進むは聊か危險なりとの警戒も出て茲三圓處に一服の姿なるが何分浮動株少なき同株なれば今後尙は昨今の如き買壁絕わざるに於いては今自然の値上りは免れざるべしと

朝煙人氣强調

朝鮮煙草は既記の如く今期より年八朱配當を可決したるより漸次引締りつゝあるが今朝配當附期四朱の配當一圓の手合せあり半三十三圓五十錢の手合せあり半期の配當二十錢を控除するも尙ほ三十二圓三十錢となる譯なり

東畜更に上向

東洋畜産株は昨日來漸次引締模樣を呈し十六圓の買人現はれたる事は既報の如くなるが今朝は更に五十錢方の上値十六圓五十錢の取引を見せ氣配强硬なり

重要株式利廻 前月比較高率

十一月一日現在市價を標準として日本勸業銀行の調査せる重要株式利廻り率は總平均六分四厘五毛を示し前月同日調べの利廻りの率六分飛五毛に比すれば利廻りの大體前月に比し高率を示せるは株式相場の低落せる也詳細左の如し

株式名	相場	配當率	利廻
勸銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
正金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同拓	[illegible]	[illegible]	[illegible]
興銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第五	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十百	[illegible]	[illegible]	[illegible]
農工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東武	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
通運	[illegible]	[illegible]	[illegible]
明火	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東上	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海火	[illegible]	[illegible]	[illegible]
横火	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日瓦	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富瓦	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日清	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東毛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋毛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
寶田	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日水	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹽糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
明原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
王粉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東均	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝皮小固し

朝鮮皮革株は東畜との合併說を傳へらるゝあり稍買氣付きたることの如く二十五圓八十錢の商內ありたり

殖銀入電區々

殖産銀株は昨日本社入電は九十三圓を報じたるも某店へは押込後の百七圓とあり何れが眞の相場なるや遽かに斷じ難きも當地は後者の一頃に取引され居るが如く本日の平均出來値も九十七圓處を示せり

北濱だより

何で安いかと東京へ聞き合すれば大阪が高いから賣ると云ひ之れに對する大阪の答へは東京が安いから崩れたのだと言ひ返す▲露は花の梢で原因が分らんが／＼くまでもない…（以下判讀困難）

米況

東京期米特電

●六日前場 當限寄付 四十二圓二十一錢／中限寄付 四十二圓三十六錢／高値 四六、〇〇／安値……／止め……

大阪期米特電

●六日前場 當限寄付 四十三圓十錢／中限寄付 四十三圓〇四錢／高値 四六〇一／安値……／止め…… 日後場

神戸期米特電

●六日前場 寄付 四四九七／高値……／安値……／止め…… 日後場

下關期米特電

●六日前場 押目買ふ 當限 中限 先限 寄付 四二五〇 四二九〇 四三〇〇／高値……／安値……／止め……

仁川期米 六日前場（伸悩む）

今朝天候晴天各地入電未着なるも前日阪地の止め安と今朝の氣配安含みに入氣引立たず立會は當四八十錢の買に五九錢賣り四十中十錢より五十五錢先四十三圓九十九錢から安に寄せしが例の買物に四圓丁度ニ○五銭高迄り先限も四十三圓丁度迄して後は閑…（以下判讀困難）

六日 場	寄付	高値	安値	止め
一節	四二、一〇	四二、二〇	四一、九〇	四二、〇八
二節	四二、九七	四二、九九	四一、九〇	四二、八〇
三節	四三、〇〇	四三、〇〇	四二、九〇	四二、九〇
四節	四三、二〇	四三、二〇	四二、九八	四二、九八
五節	四三、一〇	四三、二〇	四三、一〇	四三、一〇

公定相場

◇値段 見入 當限 中限 先限 四十三圓十七錢 四十四圓九十五錢 四十四圓九十五錢

今日出來高 三千二百石

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町三丁目 電話長三八二番

市場雜觀

問題視された當中は愈々買方の豫想通り渡米寬集難と産地正米高に容資の珍高値を現出したる有史以來の珍高値に躍進したるが斯ふなると買聯合の羽音は高く小口筋の提灯連を誘起したのが反つて買方主力の爲には禍を招き夫れ丈罪を深くして居ることゝ反對に賣方一派は先月の暴落に戻り賣り人氣に偏頗したので一時は仲力が取り顛取したので初めて唱へられた丈小口の手詰めが却つて餘り骨を折らずに相場を高くして居る▲此の調子では其の先の韜は益々強くされて來る傾向にあるは矢張り人氣が新米期に逆つた手筋の現れる爲めでもあるが▲併し餘り人氣や値頃にほれ過ぎぬと盤本意の買方の大勢を考へたら

（續き）●第二節 當限四十四圓八十錢、五錢迄押したが因の買物に四十三圓九十九錢と戻し先限も四十三圓丁度迄… ▲第三節 當用四十四圓八十三錢… ▲第四節 當限四十三圓十錢、買方の手控へに氣力を振ひ…▲第五節 當限出來不申… 消化され…

當中の牽制

買方一派の强硬に… 而して賣方の確固たる…（以下判讀困難）

仁川米豆取引所仲買人 仁川濱町三丁目 今村覺次郞 電話長三八七番

京城正米市場

釜山を始め各地正米高移りと米の出廻れる鎌入不足の恐れに先高思惑更に高まり此處荷主は益々强腰となれるも過般來精米筋の見送り方針を續け來りたる後とて相場は其割伸力鈍く今朝は地指上玄米四十四圓並玄四十三圓二十錢見當を唱へ約二三十錢高の氣配を呈せり手合せとしては西井里三等合格四十四圓五十錢の外地指玄米四十四圓より四十三圓八十錢にて出來せり

仁川正米市場

當正米氣配は産地高を受け內地不引合ひとはいへ容易に弛まず本月中渡新米にて四十六圓の買聲あるも賣物薄きのみか鎌入不足の爲め現に行はれし先約物さへ品の不渡りを云爲されつゝある模樣にて眼先安値は望み難く古標準は四十四圓七十錢處を唱へらるゝも午前中は商談を見るに至らず

釜山正米市場

內地期米安報を入れ古米は持合の三等神力四十五圓丁度にて一千二百叺新米は輸出筋の買進みにて五十錢高三等神力四十八圓四十錢所にて一千三百叺出來大豆は新物一二十錢安の二十七圓所古大豆持合京釜二十四圓五十錢京釜二十五圓所にて若干の手合ありたり

京城在米高

十月末日の當地在米高は玄米一萬五千二百叺白米二千三百二十九叺合計一萬七千五百二十九叺にして前月中旬に比較すれば玄米千〇二十六叺減少し白米二百五十三叺の增加を示せり

雜穀氣乘薄し

滿洲粟は頓いて望人ありと雖賈人高唱への爲め買方の多くは見送り風情となり今朝は僅かに海城粟十二月渡し車十九圓の一口手合せありたるのみにて氣配引立たず大豆又値頃行間への懸念内地相場の變動なきと共に氣乘り頗る薄く今朝は無商內の裡に龍山古三等二十五圓處を唱へられ其他滿洲黍二車は本月中元山渡にて十二圓五十錢に出來せり

肥料石灰精米石粉

京城本町二ノ九 電話三〇五四番 大正石粉工業株式會社

絹布行悩へ一服

頃日來鰻上りの京綿布市況は昨朝は大阪三品前寄六百六十圓の突飛へ電を齎らし早耳筋の活躍と候つて人氣沸騰粗布三ヱーは五百六十二三圓より一躍七十圓と突走り其他一齊に奔騰を告げたる事…昨報の通りなるが其後人氣は刻一刻と高潮を加へ午後に至れば三ヱー票は遂に五百八十圓迄手合せ行はれ其他晒物細物に至る迄破竹の勢ひを示したるが大阪三品は昨前場の急激なる騰に同日後場は時節柄成行きを不穩と認めたるか帳簿整理と稱し休會を爲したる爲め其後の阪地の前途警戒の念を挾むに至ると共に不明にて調査氣の吹荒める折柄地場の商勢が貿器の伴はさる人氣上せの熱狂的氣味あらしなれば今朝は稍々行過ぎ咎めを認め其商內振りも前日と異なり恰も暴風一過の觀あるが未だ相場の反動を見るに至らず早朝には三ヱー五百八十五圓迄取組ありて昨午後より却つて上値を示し其他十六磅三ヱ五百三十圓輕目物三百六十五圓龍綾二十二圓五十錢鳳凰十九圓五十錢細布エー虎廿七圓見當と氣丈夫先はずしも一般人氣は既に頭を打ちたる機先とて本日の入電如何によつては或は慘憺たる反動あるやも知れず

洋釘在荷拂底

洋釘は輸入遅延の折柄內地製釘は各工場に於ける職工怠業の氣味ありて昨今生産減退と相俟つて內地市場は漸次在荷の拂底を訴へ來たるもの丶如く大阪入電は各時共約五十錢方の昂騰を報じ當地も連れて底意强硬なり一部當業者に於ては眼先の輸入如何を懸念しつゝある際とて傍觀的に相場上遊りの狀態なるも此機先多少の輸入ありとするも在荷の潤澤を期し難き模樣なれば早晩幾分の引締めは免かれざるべし

ショウベル昂騰

本品は鐵板及勞銀高を受けて內地相場は最近二割五分方の昂騰を報じ當地又之れが反響を來し居れるも前手持品のある際とて其値上り程度は一割五分內外に止まらんかと

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥

ミツワ雪の雫（みつわ・ゆきのしづく）

定價 金四拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

主効 皮膚を細かに清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚剝脫、皮膚亀裂、皮膚凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀斑、汗疹、痤瘡、毛瘡、濕疹、膚疹、粃糠疹、苔癬、白癬に奏効す

本劑は芳香馥郁たる速膚藥で、日常之を用ふれば肌膚に居る黴菌を殺し其の發育を抑へ、隨つて腐敗を防ぎ臭氣を消し、肌膚硬くなつたのを溶かして▲肌膚を柔軟に滑澤になし、肌膚から出る脂肪を除いて清潔に麗しくし、皮脂や汗の餘分に出るのを制限し▲肌膚の乾燥を治し、皹裂などを防ぎ、黴菌や汚物の入込むのを防ぎ、肌膚を包み護つて外から來る刺戟を除けて健全な肌膚の新しく出來ることを促すのであります。又▲白粉を塗る前に肌膚を强健と清潔にするので、前に擧げてある諸種の皮膚病に良く效き、肌膚の營養を旺盛にし、肌膚の血行を良くして其の色澤を美くし、之を擦り込むやうに塗り暫く經つてから湯水で輕く擦つて手拭ひで押へるやうに輕く拭取りそれから白粉を塗ると此のりものびもよく生々とした化粧が出來る肌膚になります

（現品縮寫圖）

芳香馥郁たる肌着香水オー・ド・フラール

ミツワ花の雫（みつわ・はなのしづく）

定價 大壜 金四拾五錢 金七拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

從來の家庭用香水は徒らに强烈なる香を放ち、手巾、衣服等に振掛くれば汚點を殘すもの多きに反し、ミツワ花の雫は人を魅するが如き温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘す憂ひなく肌著、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面浴槽等に用ふれば、清涼の感を得ること本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌著香水なり

（現品縮寫圖）

毛髮の營養料衛生香水ヘーヤ・ローション

ミツワ月の雫（みつわ・つきのしづく）

定價 大壜 金五拾錢 金八拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

優良なる品質を具へし、毛髮の衛生に適するミツワ石鹼を以て毛髮を洗滌せる後此ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得毛髮の發育を助け毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫け毛及び雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特効ある美髮料なり。故に毛髮の衛生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の榮養料頭髮用香水なり

（現品縮寫圖）

贅澤で經濟で而して最も優良なハンカチーフ用

三百番香水（さんびやくばんかうすゐ）

種類 ヴァイオレット（すみれ） ローズ（ばら） リリー（ゆり） ミュゲット（花の名） ミモーザ（花の名） ブーケー（花ばた）

定價 各種均一 小壜入……金五拾錢 中壜入……金壹圓五拾錢 大壜入……金貳圓五拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つもので、香は人によつて嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを發賣して、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。香水は折角高價を拂つて求めても、其香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一瓶每に小瓶の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものが選べる便利がある。一體普通香水は容器の贅澤を飾る爲に餘計に高價な物になる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的として居るので、自然價格も無類の低廉なるものになつてゐる

伊達騒動

第五十一席　小金井芦洲講演

丹三郎の苦悶

く『お情ないとを仰しやいます、るで私が御主人様を毒害…… 丹『イヤ、夫れに相違ない、毒害をする積りでなければ態な毒薬なんぞを入れる筈はない く『エーツ、餘りと云へばお情なうございます』聲を限りにワツとばかりに泣出した、其騒ぎに向ふの座敷に居りました阿母さんが出て來た 母『コレ〳〵丹三郎、何時お歸りであつたか一向に氣が注きませんでした、戻つて來ると間もなく其通り大きな聲をして隔て一つのお隣には他人が住るを致して居ります、世間の聞ゆもあらうにマア靜かになさい……条何かお前また粗忽をしなすつたね く『御隠居様私は殘念で〳〵堪まりませぬ縁あつて御當家へ御奉公に上がりまして、お目掛けられて下さいます段、寢た間も忘れは致しませぬ、然るに唯今旦那様がお歸りになつて酔つて居るから水を一杯呉れこ仰しやいました、ハイこ云つて差上た其水の中に蜘蛛が一疋這入つて居りましたのを御覧なすつて旦那様が条、此方は不届きな奴だ、蜘蛛などを入れて毒害をする積りだらうこ仰しやいます、何で私が然んな大膽れたことを致すものではございませぬ、ア、殘念ツ…… 母『コレ〳〵靜かになさい、丹三郎何こ云ふことだ、何で条がお前を毒害をする道理がありませう、考へれば分ること、人に聞かれると飛んだ笑ひを受けますぞ……条やお前の粗忽に違ひない、丹三郎は何うやら顔の色の悪い所をみると無理に御酒でも強られて來たのであらう

御酒の上の無理、妾が詫るから心を直してお呉れ く『恐れ入りました、御隠居様からそのお詫を受けましては何んとも恐れ入ります 母『サア、彼方へ行らつしやい く『ハイ』下女は退つて行く 母『伜、何んと云ふ物の云ひやうです、苟にも然んなことは云はぬものです、親子は一世夫婦は二世主從は三世とさへ云ふ何んな身分の輕い者でも主從となれば夫だけ心付けてやらねば成りませぬ、毒殺だの毒害などこ云ふことは容易ならぬこと、以來は乾度お慎みなさい 丹『恐れ入りました 母『シテ腹尾様からお招きの次第は 丹『ハイ、々の勧め向き大儀であると仰しやつて、今日は何にか御内宴がございましてお奉行様も御同席で御酒下されてございます 母『オ、然うであつたか、夫れならば好いが、火急のお招きであるから、何にか變事でも出來はせぬかこ年寄りは兎角に就けて廻り氣でのう、歸りの程を待兼ねて居りました 丹『有難う存じます、就ては勝手ヶ間しうございますが、戴き付けぬ御酒を少し餘計に過ごしたので頭が惱みまして成りませぬ、今晩はお先へ臥せらせて 母『オ、明日はまた當番、早く出仕をしなければなりませぬ、臥せりなさい、条や伴が心地が悪いから臥せるこ云ひなさる、臥床の準備をして く『畏まりましてございます』向ふの座敷へ床を敷べて呉れる阿母さんに挨拶を終つて寢所へ這入つて、軈て布團の上にドッカリ両手を拱き下俯向いて考へに沈む 丹『どうしたものか、お主殺しなど、云ふ大逆無道は迚も出來ぬ、さりこて恩に向ける刄はなし、アヽ困つたものだ』二間程向ひの室では阿母さんが頻りに念讀經を始めた、チイーン……チン〳〵『南無阿彌陀佛南無阿彌陀佛、お館様御先祖代々山與の御靈は殿初め奉り御先君頼僧頓生菩提、何卒して若館様恙もあらせず御成長御武運長久お家繁昌を守らせ給へ、向き大事に御奉公相叶ふやう守らせ給へ、南無頓生菩提、南無阿彌陀佛』チイーン……耳に立て、居た丹三郎 丹『彼の通り母上は常にお館の御武運長久を祈つてお出でなさる、自分は明日の朝は勿體なくも若君毒殺の儀を受合つた、鬼か悪魔か、外道か假令如何なることがあらうこにも主君を弑し奉ることは八逆の大罪、こ云ふて大恩受けたる甲斐様を蒼入すれば五逆の大罪八逆を採らうか、五逆か、自分が死んでしまはうか、コリヤ何うしたら好からう……』こ丹三郎は遂に髪の毛を掻き毟つて床の上に倒れてしまつた。

支那栗

ごんな美味も珍味も及ばぬ純粋の支那栗が参りました、焼いて冷めても特色は何日までも甘味ブンワリと澁皮知らずで京城に始めての點は平壌栗以上で他店に見られぬ名で來ました、内地の御土産や御進物には好適品です、御注文次第遠近に拘らず御届け致します

京城本町貳丁目壽町入口角
中川風月堂
取次電話壹壹六番

海外移民減少

戰後内地商工業界の勃興につれ一般海外移民は頓に其數を減じ殊に逐年盛況を見つ、ありし米移民の如き最も甚だしく其靜を豪り罰獨移民の自由を得するベルーにして大正七年度渡航者一千六百以上に對し今年は漸く一千二三百内外に止まり前年に比し二割以上の減少を來し家族移民制に依るブラジルの如きに至りては昨年度の五千五百餘名に對し今年は僅々二千五内外にして實に半減せる有様なり而して南米に於ける我移民は歐洲亂後經濟發に依り歐洲各國移民の杜絕後非常に歡迎を得且つ又相當の地歩を進め一般世人の注目を惹起しつゝありしも戰後は内地經濟界の好況に支配され渡航者數ば毎船減少を來しつゝありこ

十一月八日

（舊）九月十六日　甲子　滿月
土曜日　▲六白　▲のぞく
西北　赤口　▲氐

▼六白▲念にも念を入るべき日
▼七赤▲何ごなく親しき賑やかなる日萬事に吉なれど酒色注意
▼八白▲華美なる日にて或は意外なる嬉しき事あるやも知れず
▼九紫▲惟しき事を注意すべし
▼一白▲盛運の日起〓移轉棟上婚禮旅行其他何に用ゐても吉
▼二黑▲花々しき日にて萬事吉
▼三碧▲晦に落ちぬことある日
▼四綠▲あやふやに終り易き日
▼五黄▲此の日は親しみ深き日にて殊に親切に仕甲斐ある日

汽車 [illegible]

改造の叫び

時勢の要求に順應して化粧品界に一新紀元を劃立したる

獨創的新發見

歐洲大戰の結果は世界を改造すると同時に人類の思潮、風習、嗜好、――何でも皆改造を促して來ました、此の現象は終に化粧品界にも波及して今や文明諸國では最も新らしい、最も進歩した、そして最も簡易で經濟的な化粧品を得ることに腐心して居ます此の時に當つてホーカーパットの現出は正に斯界の一大發見で學界の至寶と言はれて居升

天性の白さを表はす

ホーカーパット

化學の極致を盡した男女兩用の化粧料

□塗けると直に天性の白さを表し
□手間取ずに上品なお化粧が能る
□淑女令孃方の薄化粧用として一等
□お年寄やお子供様方の色艶を好し
□紳士の風采を高め血色を麗くす
□日ヤケ肌アレを防ぎ皮膚を若す
□芳香優雅にして氣分を爽かにし
□アセモを防ぎ脂肪や分泌を調節す

定價 一瓶 三十錢
送費 内地 滿鮮 牟四 十 領 錢

全國到處の小間物化粧品店藥店等にて販賣す、若し品切の節は振替又は三錢切手代用直接本舗へ御注文あれ

發賣元
ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカーパット
ホーカー美髮液
本舗
東京神田和泉橋
堀越嘉太郎商店
電話 特長 神田 四四三 一四五四 長 一五四六
振替東京

文明的最新調味料

味の素

吸物に味の素（醬と湯さへあれば即座に味よく拵へられます）
酢の物に味の素（酢の物にかけると花鰹より味も體裁もよく）
お酒に味の素（苦味辛味を消して灘の生一本程に飲めます）
煮物に味の素（を入れゝば鰹節が要いず味がよくなります）
寄せ物に味の素（砂糖や鹽で味を附る時少々入れて御覧なさい）
和へ物に味の素（和へ物の味附には申分のない味の素）
豆腐に味の素（ませいで燒くにも煮るにも少で味が倍になる）
鶏卵に味の素（燒ても煮ても生でも一度入たら忘られません）
洋食に味の素（スープやソースの中に入れゝば其風味百倍す）
醬油に味の素（さしみの醬油に加れば驚く程風味よろし）

京城明治町二丁目
周易家相
岡村介石

優等清酒

京城永樂町二丁目 本荘酒店 電話六五四番
仁川京町 本荘支店 電話二一六番
安東縣大倉橋通 本荘支店 電話二一七番

痔疾專門
京城明治町二丁目（本町より入る中央）
京城久枝肛門病院
電話二一〇二

京城日報

第五版

(年中無休刊)

本紙定價　壹部金四錢▲郵税金拾五錢　壹ヶ月金壹圓五錢▲三ヶ月前金壹圓五錢▲六ヶ月同六圓▲一ヶ年同拾貳圓▲郵稅代用一割增
廣告料金　五號十四字詰一行一圓五錢▲同特別二圓▲二號七字詰同二圓▲同三號八字詰同二圓▲四號九字詰同二圓五十錢▲六號十六字詰金一圓
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　長六千九番　一長六千二番　振替京城三〇〇番

……帝の審判に關し……[illegible]……れざる點あれば名譽の確保と[illegible]を猶豫され度き旨要求し最高會議に於ても之れを諒とし承諾を……[illegible]太子の逃亡を監視すべき旨の通牒を發したる處和蘭政府の回答は本國政府は斯る警告を受くる[illegible]……字新聞は聯合國は非公式に和蘭政府と内約成れるを報じ之に依……[illegible]……て全獨逸國民に代り法廷に於て國際政策の最高主義に基き宣告……實行難は免れざるべく此儀立消に終るなきかと觀測する者あれどボナー・ロー氏……見るならんか但し獨逸新聞は……帝の引渡し要求は和蘭に對して爲すべきにあらず獨逸政府に爲……

講和條約效力發生期

講和條約の効力發生を確定すべき佛國外務省に於ける五大國の……る期日決定事情……中なるが以て批准書を送致したる帝國に……如し左れば同日を以て獨逸に對し……する一切の戰爭狀態を終了する……の四國なりと云ふ而は同日を以て……て前記四國は平和克復に關する……渡せられ且勅令省令の發布を見……るに至るべし之れと同時に講和……

京城日報

朝鮮總督府豫算

朝鮮總督府の豫算は、寺内總督時代に帝國議會に於いて、向後五箇年を期して、其の財政を獨立せしむべしとの公約を履行し、本年度より一般會計よりの補充を辭したるは、既に周知されたる事實なるも、來年度の豫算を編成するに當り、物價騰貴に因る經費の一般的增加(一)警察制度更正の結果俄然激增せる經費の補充(二)普通學校の充實擴張に要する費用(三)内鮮人差別撤廢に基く俸給の增加(四)笞刑廢止に伴ふ監獄の新設備(五)癩患病院增設に要する費用等、約二千萬圓の歳入不足を生じたるをもつて、之を國庫の補給に求めんがために、水野政務總監が東上交渉中なるに關し、世間或は總督府の新政方針として既定の財政獨立を拋棄したるものと擯斥するものあるも、是れ恐らくは速斷に過ぎたるものといはざるべからず。蓋し新領土の財政獨立に就いては、可否の論頗る喧しく、或は之をもつて百政の施設を消極的ならしめ、其の發展を阻害するものなりといひ、或は歐米諸邦の實例を引き、母國との關係を密接ならしむるがために、政策上國庫補給を維持すべしと唱へ、皆相應の論據あり、遽に之を斥くべからずと雖も、財政獨立の主張論にも亦大いに首肯すべきものあり、即ち一般會計よりの補給は、其の年度に依りて伸縮を免れ得ざるを以て、一定の事業計畫を爲し得ざるの憂あり、且つ財政に補給を受くるは、統治の當初に於いては避くべからざる所なりと雖も、租税の整理、徵收の方法等漸く其緒に就き、財源に甚だしき缺乏を感ぜざるに至りても、猶母國を煩はす如きは、斷じて不可なりといふに在りて、吾人は兩者の議論の各一面の眞理を有するを承認するに躊躇せず。國庫の補給は、急速に朝鮮の開發を促し、且つ母國との關係を密にするに於いて、誠に必要なるものあるも、一般會計にても物價の昂騰に伴ふの缺陷を充たし、且つ内外必要の措設を爲すに、財政の不足勝なるを訴ふるの折柄、巨大の補給を要求するも、其の實行の不可能なる固よりいふまでもなき所にして、此點より見れば、朝鮮は強ての四割強に近づき、地税の四割增徵を始めとし、印紙税其他の諸營業税の……なる財源を求め、自給自足の主義を執りたるを以て、賢明なる措置といはざるべからず。然りと雖も、今回官制改正に伴ふ警察費の激增の如きは、其の大部分は從來陸軍軍事費として、一般會計中に含有せるものなるが故に、之を朝鮮特別豫算に繰入るゝも、國庫に於て大なる損益なきは勿論、其他前段に列擧したる諸經費の如きは、所謂新政施行に伴ふ必然の要求にして、若し國庫に於いて之を拒否せんか、政府の宣言せる統治の改善なるもの、畢竟一の空言たるに歸せんのみ。帝國の財政如何に不如意なりとも、僅々二千萬圓内外の金額のために、信を内外に失ふものならんや。然れども此の二千萬圓の補給要求は、決して朝鮮の財政獨立を拋棄するものならず、要するに一時應急機宜の措置に過ぎずして、更に財政を整理し、歳入の增加を得たる曉には、當然之を辭退し、以て自給自足の原則に復歸すべきこと勿論なり。政治は活機なり、豈に區々たる看板に拘泥し得べけんや。

新宗教を宣す(四)

宮崎虎之助氏談

釋迦や基督が現はれて道を説いたのは即ち宇宙の目的が此の點に存することを證するものである。神の旨に從つて行かなければならぬと云ふのは基督教の説く所である。神の旨に從ふのは即ち神の子である神の子は神の子たるの行爲がなくてはならない。佛教にした所で壇上に安置せられたる佛像を禮拜すると云ふことだけが其目的ではない。佛其の物が吾々の心の中に入つて來て一切の行爲は佛の行爲にならなければならない二十世紀以後の宗教は最も徹底的のものであつて此處迄到達しなくては駄目である宗教と云ふ言葉を持つて來ると狹くなるが宇宙の大方針と云ふものは吾々が神となり佛となることである宜い加減のヤクザな生活をする爲めの人生五十年ではない吾々の前に展けられたる大千世界、天を仰いで大小の星宿を見よ太陽の輝ける蒼空の下を見よ實に帝王の宮殿よりも遙に優つて崇嚴なるのではないか。吾々がつまらない淺墓なことのみを考へたり行つたりして生活するには餘りに貴過ぎる、低級なる不徹底なる生活をするためには勿體ない、靈に食物を食ふて行くだけの人生であるとしたら太陽が……立派な世界は要らない、土龍と云ふ獸は地の中が自分の世界である、太陽の光を見ると目が潰れて死んで仕舞ふ、唯だ一途に自分の利益……すべくつまらない生活をして居るのであつたら土の中で結構である、暗夜で澤山である、併し吾々人間の生活は貴いものである此の五尺の體の中に潜める一片燦々の光ある魂の發展の爲めに無限の天地が與へられて居る。此の深遠なる宇宙の大目的を知ることが極めて大切なる問題である。夫が宗教である、夫が哲學である、夫が科學である夫れが人生である。

生別死別

=(不許無斷興行)=

服部硯月

第卅九　佗住居

『オイ、其座身窄らしい姿をして此の界隈を胡亂付くんぢやない、此處を何處と思つてる?此邊は皆此澁谷の所有地だぞ、俺の所有地には一人でも拇頭物貰ひなんか寄り付く事はならん!』

澁谷在の三浦母子の棲んで居る路次の入口で、縞の背廣に中折帽を被り、鼻眼鏡に紅の鼻飾を着け、見るからに氣障な二十五六の澁い八字髯の高襟男が子供連れの虚無僧を追立てゝゐる。

『阿父さん怖いから彼方へ行きませう』

『……………』

『そら見ろ!、子供の方が能く知つてるぢやないか、併し何も怖いことはないが惡闘々々しちよると承知せんぞ』

虚無僧は敢て爭ひもせず、子供を連れて跛を曳きながら立去つた。男は心地よげに見送つて杖を振りつゝ十五六間行つて三浦の門口に立止まつた。

『御免!、お宅ですか』

『阿母さん、又大家の若旦那が來たやうですよ』と小さな聲。

『彼方にも本統に困るね、併し何と云つても此方は借主、餘り無愛想にしても後が祟りますから、鳥渡阿母さんが出て見ませう』

明日の元日の仕度に今日晩迄もと此の日限りの今は仕付縁をつけるばかりに出來上つてる袴を傍に押遣つて、美代子は間の襖を開けて玄關に出た。

『若旦那様でしたか、まア何も取り散らして居りまして…』

『どう致しまして、散ける物のあるのはつまり結構なんです』

人を馬鹿にした、貸家商賈にも稍ともすれば云ひさうな口上である。

二疊の玄關の奥が直座敷で、大きな二枚折屏風用の繪が未だ框に嵌めた儘壁に立てかけてある。一面には薔薇、一面には孔雀を描き薔薇一陣颯と遺憾なく擴げた孔雀の尾毛を飾ひ、如何にも惜しさうな風情は得も云はれぬ有樣である。其他一二枚白絹の小框に張つたのが床の間の横手に立掛けてある。

今年十八の菊枝は座敷の上手の床の間に接して毛氈を敷き其上に唐紙を伸べ、桐墨を手に何か圖案を構成してゐる。

『お孃さんは相變らず御丹精ですね』

美代子は間の襖を閉めようとして、客に機先を制せられ、閉めるにも閉めかねて逡巡してゐる。

『彼孔雀は立派ですね、よく描けました、鳥渡拜見!』

はや澁谷は靴を脱ぎかゝる。美代子は今更辭む譯にも行かず不精々々座敷に招じた。

菊枝は澁谷が這入つて來たので、上手に占てゐる席を立ちかけた。

『どうぞ其儘で……、お孃さんが立たれると私が斯うやつてお邪魔する譯に參りません』

菊枝は身の置處に窮して母の顏を見返つた。

『若旦那が折角さう被仰るから御免蒙つて……』

母の指圖に菊枝は漸く立ちかけた膝を卸した。

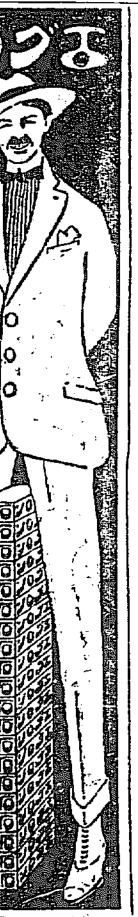
『巧いもんですなア、お孃さんは!全く天才ですね、此の風を受けてる風情はどうです全く實物の樣ぢやありませんか應擧をして再び起たしても恐らく三舍を避けるでせう』

『どう致しまして、何分子供の上に不器用者で一向手が上りません』

雜誌抄

聲の習練(音樂)

明瞭な聲を練るには充分に咽喉に力を入れず、肺臟より迸る呼氣は總て聲音となつて口腔より流れ出る樣に掛ればならぬ、又輕く樂に易々と出す練習、自分の持前の音域の高低は云ふ迄もなく、強い太い聲も小さい綺麗な聲も苦しい氣な所なく自在に出し得る事が肝要である、更に聲に權威がなくてはならぬ、是は充實した音聲といふのは肺臟より迸る心の底から出る意氣と精神の籠つた聲の事である猶此聲を出さんとするには咽喉に力を入る樣にしてはな



マルクス全集

法學博士 福田德三 校註

飜譯擔任

【第一部】資本論　法學博士 高畠素之 福田德三
【第二部】餘剩價値論　神戸高商教授 阪西由藏　大阪高商教授 寺尾隆一
【第三部】批判諸篇　法學博士 左右田喜一郎　東京高商教授 金子鷹之助
【第四部】主張諸篇　法學博士 福田德三　東京高商教授 大塚金之助
【別卷】總索引及備考　帝國圖書館司書 村島靖雄

近世の科學的努力が産出したる最大最高勞作の一はマルクスの著述たる事、誰人も之を否定するを許さず、社會進化の根本原理を究明し、資本主義經濟生活の構造を解剖するに、深刻なる哲理批判と該博なる經濟文献考證とを以てし、來るべき新經濟文化の歸趨を提示したるもの即ち彼なり、彼逝いて三十餘年、彼の生誕を距つる滿百年、今や世界は其一半を擧げて彼の科學的豫言を實現しつゝあり、嚴正なる科學の斷案が人類文化の運命を支配するの偉大なる、誠に彼に於て之を見る。然るに彼れの著作、論旨深遠、行文難解、眞に之を理解せんには、經濟學と哲學との全體に涉る廣汎なる素養に加ふるに明晰にして鍛錬せられたる思索力を以てせざる可からず。弊閣夙に邦文を以て彼の全面目を同胞に傳ふ可き系統的全集の刊行を企て、其準備に多くの勞と時とを捧げたる苦心茲に報いられ、マルクス研究の權威たる海内の碩學諸家、擧つて飜譯擔任を欣諾せられたり、福田博士は全集を通じて校註の任に當るの外、自ら飜譯の筆を執らるべく、本邦社會主義學者の第一人たる高畠素之氏は賣文社既定計畫の全部を擧げて本計畫に加はり過去十年研鑽の苦業を大成す可く、一切の社會運動を放擲し其全生活を資本論の邦譯に投ぜらる可し。企業論の著者にして經濟史經濟學史の權威たる阪西教授と純理經濟學の驍將寺尾教授とは餘剩價値學説史を分擔完譯せらるべく、文化主義の創設者にして經濟哲學の樹立を以て新カント派哲學に別乾坤を啓きたる左右田博士は博士門下の俊秀金子教授と共に批判哲理的諸篇に筆を下さるべく、マーシアル經濟學の紹介者として學界の驚異たる大塚教授は、福田博士を助けて主張的諸篇に其の明快なる譯筆を再試せらる可く、別に總索引の編成は圖書學の權威村島文學士之れに當らる可し、斯くの如くにしてマルクスが人間に留めたる遺作の全部は、現日本が有する最高の權威者のみによりて、我同胞の前に提示せらる。これを以て本邦の文運に貢献し世界の改造に寄與せんとする弊閣の微衷が、江湖の援助と庇護とを贏ち得べきことは確信して疑はざる所なり。

體裁摘要
◎菊判全二拾卷「索引及備考」一卷◎每卷約五百五十頁、總頁數一萬二千頁◎總布表裝天金函入

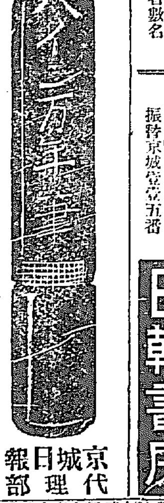
發行方法
◎完成期間、大正九年一月より向ふ約三個年、一ケ年六卷宛逐次刊行◎定價每卷金五圓五拾錢(但多少增減あり)(郵税廿五錢)

購讀者の特典
◎豫約前拂等の方法を採らず、從つて申込豫約金等を申受けず。左の期限内に購讀を申込み、全集二拾卷を購入せられたる各位には、「總索引及備考」一卷(價約拾圓)を贈呈す。

申込期限　大正八年十二月二十日
申込取扱　全國各書店
内容解説　呈進

資本論(壹)　大正九年一月發行
發行所　東京京橋區桶町　大阪南區三休橋　株式會社 大鐙閣
振替(東)三三六一八　(大)二七一五五

入學受驗者の必讀書
善隣商業學校教諭 本間操著
朝鮮 中學校入學 高等普通學校入學 商業學校入學 工業傳習所準備 女子高等普通學校入學準備
豫習算術　本日發賣
豫習國語　同上 入學準備　本日發賣
本書の特色
▲朝鮮に於ける最近六ケ年間入學試驗問題分類配置せること
▲應用力を養はんが爲苦心に編したること
▲最新式系統的に問題を分類したること
▲雜誌部　弊店は中央公論、婦人公論等著名雜誌社朝鮮唯一の大取次所たるの指定を受く(各雜誌奧付之御參照)
▲店員入用　雜籍店に趣味と經驗を有する十五六歳以上の者數名
京城本町二丁目　電話一四五番　振替京城五五番
日韓書房


京城日報代理部

晩秋之候各位益御繁榮奉大賀候陳は今般弊店儀原木卸賣を專門として一層勉勵仕候間何卒倍舊の御引立願上候
▲目下左の通手持品多數有之候
一、江原道産松原木　長二間以上五間迄　末口八寸以上二尺三寸迄　約壹萬二千本　此才積約二百五十萬才
▲所在地(漢江江岸)龍山、白濱町、新草里、纛島、漢川
一、小屋丸太用材　四千余本
其他豆滿江産紅松及鴨綠江産杉松紅松原木在品も多數著荷有之候間多少に不拘御用命願上候
鮮松卸商　京城府岡崎町　清水材木店　貞野明雄
電話長龍山一五三番　振替京城四九一番

鎭靜催眠劑 カルモチン

臨床實驗
醫學博士 山田鐵藏氏　醫學博士 佐藤四郎氏　醫學士 荒井恒雄氏　醫學士 小川六三郎氏　醫學士 眞島隆輔氏　醫學士 橋健行氏　醫學士 佐藤惇一氏
外數氏の臨床的報文を有す。別刷あり郵呈す。
(特長)全然無害(普通藥に屬す)にして持久するも胃障害其他の副作用なく又習慣性なし。
(適應症)神經衰弱、ヒステリー、神經性不眠、就眠困難、常習性頭痛、肺結核患者の亢奮狀態、妊娠嘔吐、船醉豫防等
(包裝)粉末二十五瓦入(金四圓)十瓦入(金一圓七拾五錢)錠劑十五個入(金八十五錢)五十錠入(金貳圓參十五錢)(外に粉末百五十瓦入四百五十瓦入あり)
發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店　電話本局二二〇四　二二〇五

鮮語自在

新案獨學 イロハ辭典付
笹山章著　ウツボ屋書店發行
ポケット 三百頁 上製 七十錢 送料四錢
發行十ケ月余ニシテ版ヲ重ヌル事既ニ四回、以テ本書ガ如何ニ其内容ノ充實セルカヲ究知スルニ足ラン……萬人必携の良書ハ是!
發賣元　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

商業登記公告

洪川金融組合登記事項中變更
理事杉尾眞太刀ハ大正八年拾月拾參日他ニ轉任シ同日江原道小三郎理事ニ任命就任シタリ
右大正八年拾壹月壹日登記
京城地方法院洪川出張所

一株式會社十八銀行(變更)
大正八年拾月貳拾七日左ノ地ニ支店ヲ設置シタリ
長崎縣南高來郡口之津村甲千六百貳拾番地、同縣同郡有馬村……、同縣北高來郡……
右大正八年拾壹月五日登記
京城地方法院仁川支廳

第二期決算公告

自大正七年十月一日 至大正八年九月三十日

借方 資産之部	
銀行勘定	九〇、八七壹・六九
假出金	參、貳壹七・七九
建設勘定	壹八、四六六・六四
工場用具	壹、七四七・貳四
貯藏品	參、六貳壹・六四
拂込未濟株金	[illegible]
地所	[illegible]
機械	[illegible]
什器	[illegible]
手許現金	[illegible]
合計	[illegible]

貸方 負債之部	
株金	五〇〇、〇〇〇・〇〇
假受金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期總益金	[illegible]
當期總損金	[illegible]
差引當期損失金	[illegible]
後期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]

右之通候也
大正八年十月
木浦府海岸通四丁目六番地
朝鮮製油株式會社

第拾六期決算報告

貸借對照表　大正八年九月三十日

貸方	負債之部
株金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
預リ金	[illegible]
借入金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

借方	資産之部
未拂込株金	[illegible]
地所建物營造物	[illegible]
機械及什器備品	[illegible]
貯藏品及製品	[illegible]
原料品及他店勘定	一九四、四三二・一四
預ケ金及假拂金	八九、九六六・八四
未收入金及受取手形	三一、二〇四・〇二〇
畜牛預託勘定	三九一・〇二〇
有價證券	六二、八九九・〇〇
前期損失金	二六、二五五・五〇
現金	五、四三六・六八
合計	二、八六八、一三三・八六

損益計算書
自大正八年四月壹日 至大正八年九月參拾日

一、金拾四萬壹千八百參拾貳圓八拾錢　當期總益金
一、金九萬六千貳百六拾四圓七拾錢　當期總損金
差引金四萬五千五百六拾八圓　當期純益金
一、金貳萬六千貳百五拾五圓五拾錢　前期繰越損失金
差引金壹萬九千參百拾貳圓五拾錢　當期純益金
再差引金
此分配左ノ如シ
金壹千九百圓也　法定積立金
金壹千五百圓也　役員賞與金
金壹萬五千圓也　株主配當金(年九朱)
金壹千參百拾貳圓五拾四錢　後期繰越金

右之通ニ候也
大正八年拾壹月
朝鮮皮革株式會社
取締役社長 賀田直治　取締役 今子圭介　取締役 宇賀厚吉　取締役 皆川廣濟　取締役 豐田正平
監査役 岩崎林造　監査役 草刈一郎　監査役 原久
右監査候處相違無之候也

ユ軍全線退却か 過激派軍の優勢

モーニングポストのヘルシングフォルス通信に曰くユデニッチ軍の第一戰は總て失敗に歸し退却に際して過激派の術中に陥りガッチナ西方及南方の沼地に驅逐さる、恐れあり芬蘭はコルチヤク、デニキン、ユデニッチが勝利を得たる曉には芬蘭の存在が危險に瀕することを惧るゝためユデニッチ軍を援助せざること今や明瞭となれり

▲過激派無線電信の報道は其敵軍が全線を擧げて退却しつゝあることゝ、コルチヤク軍の退却が眼前に迫れることゝ、ユデニッチ軍は二週間内に爆破さるべきことゝ及びデニキン軍の狀勢は絶望的なる事實の確言し居るも倫敦に於て發表されたる信ずべき筋の通信に依ればデニキン軍は進擊を繼續し一方ユデニッチ軍は今や何時にても再びペトログラードを攻擊し得べく戰線を保持し居れりと

▲陸軍省公表に曰く強大なる敵兵は十月二十九日ロプスシャの西南二哩の地點なるエストニア軍と西南軍の間隙を攻擊したるがピリキモ將軍指揮の下に逆襲を行ひ進擊中の過激派軍縱隊を切斷して之を擊破し捕虜千五百名を獲其後ピリキモ軍は東方に進出しグラスノエ、セロ方面に進擊せり該報道はユデニッチ軍がガッチナ撤退の風說の信ずるに足らざる旨を附記し居れり

▲ユデニッチ將軍は今や危急に陥りしこと疑ひなく而して此困難は冬期の切迫に依りて一層甚だしからんとすヘルシングフォルス來電に依ればユ軍は既にガッチナを放棄し全線に亘つて退却し今やガッチナを距る四哩のツァールスコエ、セロ及六哩クラスノエ、セロより五哩の地にあり攻擊再開に都合好き根據地を獲得する見込殆どなからん過激派無線電信はデニキン軍に對する過激派の勝利を報じ且曰くウクライナ全土に亘り一揆蜂起し今やポルタワ及びエカテリノスラフに蔓延しつゝありデニキン軍は目下マクノスの擾徒と激戰中にして擾徒は既にクリミヤよりチエルセンに達せり

▲ユデニッチ軍は過激派軍にボブシャを占領されたる結果グラスノエ、セロより撤退せり(倫敦電報)

過激軍ペトロパウロスク占領か 事實とせばオ政府の興廢に關す

オムスクの西方七十哩に在るペトロパウロスクは過激派軍の爲め占領されたりとの說あるが事實とせばオムスク政府の興廢に關する大問題なり(東京特電)

張露貨問題對策

張巡閱使は東清鐵道局が露貨千留及び五百留大紙幣の取引を停止せるは當に支那商人を危地に陥れんとする策なりとし吉林、長春、哈爾賓黒龍の各商務會に對し『三省の省會協同一致全力を盡して之に對抗せよ本使は鮑孫兩督軍と會して其執る可き途を定め目的に達せざれば已まざる可し尚露貨に對するには完全なる計畫あるを以て三省の省民は露貨を愛し安んじて平日の如く其業に勵み是れが爲め動搖する事無き樣省民に傳達す可し』と通達せり(長春特電)

特別區域制定申請

張作霖氏は内蒙奉天省熱河直隸の一部を合して特別區域を制定し以て倪嗣沖將を同都督たらしむ可く中央に申請せるが這は張氏が其勢力圈を蒙古に擴張するの一端と見るを得可し(奉天特電)

京奉沿線派遣軍全部撤退

張作霖氏は東三省軍政整理の爲め京奉鐵道沿線の奉天軍を全部奉天省内に撤退するに決定し四日顧問町野少將を北京に派遣せり(奉天特電)

孫督軍北京行

郷里より再び來奉せる孫黑龍督軍は黑龍省邊防上陳の爲め十日發著京の筈(奉天特電)

銀暴騰影響

銀先安を見越し多額の金を買入れたる輸贅商等は銀暴騰の結果大打擊を蒙り倒産者二三を出す見込なり(奉天特電)

小洋票爲替停止命令

奉天張巡閱使は長春官銀號及び郵便局に對し近來小洋票の減少せるは金融上不便多大なるを以て大洋票の一及び二をウ票か小洋票に改造せんとす其間の應急策として各郵便局に於ける小洋票の爲替を停止す可しと電命し來れり(長春特電)

豫算閣議終了と奏上

既報の如く來年度豫算閣議は五日午前十時より四日目を開會し首相以下各大臣全部出席午後より引續き六日午前二時十五分迄討議を續け大略決定したるにより六日大藏省にて數字の整理を爲したる上同日午後九時より最終豫算閣議を開き其成案を[illegible]し更に七日の定例閣議に附議し最後の決定を爲し陸軍大演習地にて之を奏上する豫定なりと云ふ(東京特電)

河合參事官辭表

農商務省參事官河合榮次郎氏は豫備問題に就き農商務大臣と意見合はず辭表を提出せり(東京特電)

村松氏脫會

純正國民黨村松恒一郎氏は脫黨せり(東京特電)

獨艦處分如何 日本へ配當說眞僞不明

二個の提案 巴里電報に依れば獨艦處分案は最高會議に於て協定され日本にも獨逸巡洋艦を配分さるべしと報ぜられしが海軍省には未だ右に關し何等公報なきも從來獨艦處分に就ては海軍專門家會議に二個の提案あるも未だ確定せず之提案に依れば

一、戰時中喪失したる艦船の數に應じ各艦種別に按分す可く其配分を受けたる艦船は必ず之を解體して材料の處分を以て其國の所得となす事

二、第一案に依り分配さるゝ艦船は其配分を受けたる國の自由處分に委する事

以上の第一案は英米の主張にて第二案は日佛伊の保持する處なるが初め伊太利は五大國以外新興國にも之を分配すべしとの議ありしもユーゴースラブ國も亦其分配を受く可きにより一時爆沈說に傾きつゝありしが其後分配は五大國に限る事となりしより自然佛國と共に第二案を主張するに至れるもの如し

各國喪失艦

而して今次の大戰期中五大國の喪失艦艇は英國二百五十六隻、佛國九十隻、伊國卅四隻、日本十隻、米國八隻にして日本は戰艦河内、巡洋戰艦筑波等も其内に含まるゝを以て若し分配に決定せば單に巡洋艦のみならず戰艦巡洋戰艦等も分配を受くべき筈なるが未だ海軍委員會に於て前記二案に[illegible]

海軍豫算決定 八々艦隊認容

豫算閣議 三日の閣議は豫算書の印刷も全部出來したるを以て前回に引續き藏相神野大藏次官等より大藏省に於ける査定の經過並に其內容に關して詳細なる說明ありたる後閣議查定の順序に就き協議する所ありしが何分にも九年度豫算案中の最難題は要するに海軍々備補充の眼目たる八八艦隊建設計畫たるを以て先づ海軍省所管の分より審議し[illegible]を了したる上順次各省の分に及ぶことゝしたり扨海軍省の新規要求額は大正九年度より十六年度に亘る八箇年度繼續を以て軍艦製造費十億餘萬圓水陸設備費約二億四千萬圓にして內九年度要求額[illegible]貸こして約三千萬圓水陸設備費に於て約七千二百萬圓計一億二百萬圓を算したるが斯くては大藏當局の計畫になる増收計畫との間に少からざる懸隔を存せるを以て大藏省側に於ては到底其全部を認容し得べくも非ざれども而も海軍々備補充計畫のことたる其趣旨に於ては最早何人も異論なき所なるは勿論所謂八八艦隊計畫の實現は一日を緩うすべからざる所なるが故に大藏省に於ては歲入の許す限度に於て或程度の

天引を斷行 し前記九年度要求額中軍艦製造費の三千萬圓を二千萬圓に又水陸設備費の七千二百萬圓を約三千五百萬圓に何れも削減し結局海軍々備補充計畫に伴なふ九年度新規要求額は合計四千五六百萬圓を容るゝに決したり但し右九年度分の要求額は少からざる削減を見たりと雖も這は時局關係に基ける新規要求額及既定經費の膨脹は各省共著しき巨額を示し歲入到底之に副はざる爲め出來得る限り同年度分を縮小して之を後年度に繰越したるに依るものにして繼續計畫全體に對する大藏省側の削減少からざりしとは雖も畢竟計畫の骨子だけは大體認容せられ即ち主力八八艦隊の建成だけは確實に實現せらるゝことゝなりたる次第なるが只之に伴なふべき

滿鮮片々

稚蠶共同飼育狀況

平安南道に於ける稚蠶共同飼育戶數は三千四百八十一戶にて掃立枚數四千七百五十九枚收繭高一千五百四十一石なるが之れを一戶當りに割充つれば約三斗二升五合なりと(鎮南浦)

製鹽界現況

全南に於ける製鹽業は全部民營にして製造者一千五百十七人、之が鹽田面積二百十九萬六千四百八十八坪の鹽釜數九百六十二竈水井六千四百三十二あり一年間の生産額は一千百三十八萬三千七百斤に達せり(木浦)

鹽價保合

元山市場に於ける十月末期の鹽卸賣價格及び取引は市況概して閑散にして市價にも更に變動なく中旬に於ける支那天日鹽(關東州及び青島を含む)の二十九錢再製鹽の三圓五十七錢は依然として居据りの狀態なり(元山)

咸興金融活潑

鮮人側の金融は一時非常に逼迫を告げ些か將來を憂慮せしめたるも最近漸く緩和狀態に入り小康を得つゝあるが今や既に期末資金乃至穀類出廻り期に入りたるを以て各自資金の需要を喚起し爲めに一般金融界は例年の如く活潑を見せつゝあり(咸興)

官舍建築工事

大連市に於ける關東廳官舍建築工事は職人の手不足なるに加へ虎疫發生時に於ける苦力の減少等種々なる原因の爲め豫期に比し甚だしき遲延をきたせるが十二月迄に竣工を保證し得るもの百二三十戶あり十一月末迄には全部の荒工事を終る筈にして約束期限たる四月末迄には全部の竣工疑ひなかる可し(大連)

兩會社認可

石井駒次郎氏外七名より申請中なりし全南殖産株式會社新設の件は五日附許可の指令ありたり同社は本店を全南光州に置き資本金百萬圓を以て土地家屋の賣買貸借其他の業務を經營するもの也と▲馬場嘉藏外九氏よりの申請に係る朝鮮殖産株式會社資本金五十萬圓新設の件は十月五日附許可の指令ありたるが同社は本店を鎭南浦に置き精米業並に各種工業其他の業務を營むものなりと

警部補採用試驗

京畿道第三部にては五日より六日に亘り鍾路警察署樓上に於て警部補採用筆記試驗を執行せるが受驗者八十七名なりと

大森木原山より

小原 鳥栖

柏陰將軍、宗演大和尚相次いで故、今更秋風の嘆に不堪候。綠泉の灰もたまらず秋の風 小子近狀左に。蕃の秋杜を愛して日に棲めり

人事消息

▲兒島憲兵司令官 大演習陪觀の爲め東上の筈なりしが制度改正後事務多忙の爲め東上を見合せたりと

▲谷多喜磨氏(江原道第一部長) 六日夜入城不知火へ

▲吉田一雄氏 代議士 六日夜入城朝鮮ホテルへ

朝鮮開拓事業進捗 前代議士 守屋此助氏談

朝鮮開拓株式會社代表者前代議士守屋此助氏は青島大連等の視察を了り歸東の途六日夜入城せるが其の談に曰く

朝鮮開拓株式會社は千潟地開墾其他之に附帶せる事業を營むを目的とせるが其の後諸般の準備著々進捗し既に技師及び技術員約二十名を各道に派遣し夫々精密なる調査研究を續行せしめ居れり多分本年中には之等の諸調査も終り來年早々事業開始の運びとなるべき見込なり同社は曩に比較研究の結果有望なるを以て選定せる以上各道に於ける地域より面積約三千町歩に上るべく之等は凡て確定せるものにあらず要するに事業の其調は精密なる調査にありと云ふ予の持論の如く遺漏なき調査を進めんとするにあり、而して余は今次青島

內地の輿論

が青島の警管居留地たらんことを要求せるが如き傾向あるは轉きに同地に派遣して輿論の喚起に努めしも二十餘名の運動員を內地によりで大連にては獨て余の關係せる滿鐵事務所のものに同地に於て[illegible]大豆に關しては滿洲の特産物たる大豆の[illegible]衣服用のものにも[illegible]

警官配置完成

[illegible]

通信收入概況

九月分通信事業收入は四十九萬四千七百八十一圓にして前年に比し十七萬八千四百十圓(五割六分)を超過し前年度同月分の收入に比すれば十三萬五千十九圓(三割八分)を增收せり又九月迄の收入累計は三百二十四萬九千三百十六圓にして豫算を超過すること九十九萬六千九百七十三圓(四割四分)前年度同期の收入に比し七十八萬九千五百圓(三割二分)の增收なれり

京城取引所出願

京城取引所株式會社京城取引所(資本金五百萬圓)は本月三日申請代理人大住文次郎氏他四名より北筋に出願せるが同社發起人は百三十二名の多數にして事業目的は米穀有價證券綿布仲買人をして賣買取引を爲さしむるにありと發起人の主なる者左の如し

李根皓、李允用、閔泳綺、趙大鎬、閔丙奭、李軫鎬、朴泳孝、朴承稷、李鳳儀、[illegible]、增田遊龜太郎、高允默、趙鎭泰、石鎭衡、金泰熙、朴基東、[illegible]、小林源六、[illegible]、岡田榮、杉山茂平、津田鍛雄、西崎鶴太郎、力武嘉次郎、高宗錫、松本正寬、高木德彌、加古貞太郎、廣江澤次郎、松井民次郎、松本勝太郎、李容汶

砂糖界近況

砂糖界は今夏に於ける供給不足の大鳴物に昂騰し續いて思惑買の漸く絕えたるを以て俄然急落し以來久しく保合狀態を持續し昨今尚ほ未だ其の[illegible]を脫せず當地は三十八圓見當にて內地品との採算上より言へば運賃關稅諸掛を加へて地質四十圓も敢て不當ならざるも何分目先需要明を過ぎかの製菓界の如き柿、栗等の果實出廻りの爲め此の方面に對する需要も減退の方にて思惑當時の持越品は大體消化されたるも昂騰の材料も出でざるを以て內地の強含みに追隨せするよりは寧ろ地場相場として保ち合ふの止むなきものあり

補助艦船

の建造は豫算會せり(東京)

削減の結果少からざる計畫變更を餘儀なくせられたるを以て巡洋艦、大小驅逐艦、大小潛航艇の建造豫定隻數を敢て減少排除して一先づ當面を糊塗することゝし茲にさしもの難題たりし海軍々備補充計畫は曲成りにも成立を見るに至りたりと次いで外務省所管に關する分の審查に入りたるが同省所管中の新規要求費たる講和成立に伴なふ在外公館の新設其他の諸施設は何れも必要避くべからざる費目に屬するもの、みなるを以て一部不急の施設を除くの外殆ど全部の認容を得大體外務當局の要求通りに決定せられ終つて內務省所管の分を了し午後五時半散

フ提督海軍論

フィッシャー提督は倫敦タイムスに一書を送りてスコット提督が其著書中に於て述べたる意見に賛意を表し將來の海戰に於ける飛行機の任務の重大なるを裏書して左の如く述べたり將來艦隊の海戰に於て軍艦は無用の長物となり吾人は單に潛水艦を使用し得るのみ從つて現存の艦艇は是を維持すべき何等の理由なし同時に吾人は將官其他の高級將校の必要を見ず是等は正に博物館に陳列さるべき品物と同一なり今後に要すべきは潛水艦と是れに必要なる指揮官なり換言すれば吾人が今後尙ほ存在せざるべからざるものは海軍航空隊以外に是れ無し(倫敦電報)

戰前獨逸が

同地に於て施設計畫せる事業が如何に精密なる調査に基きたるかを見ても大いに予の持論に裏書されたるを知れり、青島行の要務は例の專管居留地問題に就き予が同地と關係浅からぬものありたるを以て憲政會より派遣せられたるものなるも憲政會の同問題に對する方針は夙に確立し居るを以て予の歸東後になすべき報

西伯利米人活動

西伯利に於ける米國の經濟的活動は既に調査時代を過ぎ各方面に目醒しき活動を開始しつゝあり最近米人は露人と共同經營の下にオビ河附近より毛皮五百貨車の大輸送を行ひつゝあり(浦鹽電報)

鳥瞰錄

思想界の變動は何處も御同様だが新舊思想の衝突から一大[illegible]彼の北京大學で新舊思想の大衝突問題以來文章上に言文一致が大流行と云ふ支那では頗る珍らしい傾向を示して居る▲新しい方の新聞でも雜誌でも大抵言文一致を用ひて居る▲文學の方面で張東孫君(の)解放與改造主筆の名篇▲可憐的我、を皮切に口語詩が全盛で近著の星期評論にも康白情君の[illegible]色、諸綠の草の色、紅なる黃い色、紫の藍色の白き山茶花こそ蘭の石の[illegible]相ましはり、人は牛宝に浮かび出たやう。花草すべて愁ひを含む、落日だ、又秋だ、我はいふ、愁ふるなかれ天地は老いず、我等すべて正に花を著けたらずや』▲自由な詩形で因はれざる思想口語詩の前途は確に注目に値する否或は將來支那の眞革命は口語詩を先驅とする文學革命に依つて始められるのではないかと思はれてならぬ▲先月中旬紐育で萬國女醫大會が開かれた時伊國人が最も完全な足趾を有して居るかと云ふのが問題となつた▲一體西洋婦人は高い踵の靴を履くので踵が曲折して不完全な物許りで皆落第した▲處で出席者中唯一人及第した婦人は日本人で井上友子女史であつた全會一致で日本婦人の足趾美は大賞讚を博した相だ▲餘り有りがたうもない話だ

株券引換公告
當社株券第一回拂込金領收證ト引換ニ御渡シ可申候間至急御引取相成度此段公告候也
大正八年十一月
東京市麴町區有樂町一丁目一番地
東洋葉煙草株式會社

丸善 オリオンインキ 萬年筆用

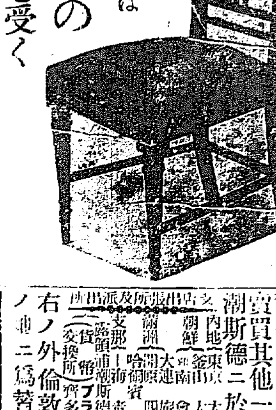
▲急告▼
赤煉瓦
右四拾萬個賣却す希望者は至急來談あれ
朝鮮京釜線大田
安井煉瓦工場

最新 書式大全
京城日報社編纂 菊版クロース頒美本九百頁●定價參圓郵稅二十七錢
本書は最新の朝鮮書式大全にして各種關係法規に依り、民事、商事、刑事、交通、通信、財政、産業、特許、意匠、商標、賃用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各部又一々關係法規を摘錄し一切の書式を網羅し餘さず各階級を通じて必携の良書なり
發行所 京城太平通 京城日報社代理部
取次販賣所 大阪屋 嚴松堂 日韓書房

特撰大寫眞上場
日活會社本年度新規大撮影
舊劇 宇都宮釣天井 全六卷
◎尾上松之助、中村扇太郎大合同劇
米國インス會社特作大映畫
人情活劇 火の海 全六卷
本篇は我同胞にして米國活動界に其人ありと知られたる早川雪洲、青木鶴子(夫人)の兩主役となりて有名なる米國俳優フランク、ジ氏等と共に櫻島爆發を背景として脚色したる人情活劇なり異鄕に在る我同胞の眞假を知らんと欲せば其須らく本映畫に就て其の內容を觀よ!!而して其藝術美を觀よ!!
今七日より 入場料普通
ニコニコ劇 幽靈畫工 全一卷
大正館

致富成功 資本十圓
▲致富大成功の秘訣は株式投資に限る▲資金經驗の有無に拘はらず何人にも巨萬の富は眼前にあり絕對安全確實無比方法申込次第無代進呈◉東京日本橋兜町五九 東京資金株式商會

熊平洋家具は 優秀との 賞讚を受く
京城 熊平支店
電話長二一四番
振替京城二五二番



▲平壤京谷商店製 耐火煉瓦販賣 京城古市町 苫米地商店 電話九四〇、三一八番 振替京城五三一番

雨覆シート廉價調製需に應ず
營業所 大阪市西區南堀江下通り一丁目
綿布 撚糸 商 大谷商店
工場 大阪府東成郡榎並町
電話 西三八九九番 四二七番

爾今物價騰貴の爲三割値上げ仕候也
京城石灰製造業者

木炭の半額であり頗る經濟な 卵形無煙煉炭
用途火鉢用炊事焜爐用定價一箱(凡四百個入)金參圓參拾錢 石炭代用として他に比類なき頗る經濟なピッチ入 卵形無煙煉炭
燃燒時間拾時間一定の高熱を保つ
撫順炭 內地塊炭 平壤無煙炭 卵形煉炭 安州炭 物品販賣
京城株式會社京城特約販賣所 京城太平通二丁目電話七二七番
西崎商會 南大門支店用 電話二七八番

千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社醸造
宮內省御用達 ヒゲタ醬油

代理店 京城明治町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店 電話長八四九番 振替貯金口座京城七五四番

資本金四千萬圓
拂込濟資本金參千萬圓
積立金四百貳拾壹萬八千圓
預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務ヲ取扱申候 並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候
總裁 美濃部俊吉
朝鮮銀行
內地 東京 大阪 神戶 下關
朝鮮 釜山 元山 群山 木浦 鎭南浦 仁川 平壤 大邱 會寧 新義州 城津 羅南 淸津
滿洲 大連 旅順 營口 長春 奉天 開原 四平街 鐵嶺 安東縣 吉林 哈爾賓 傅家甸 齊々哈爾 奉天新市街 龍井村
支那 上海 靑島 天津 濟南
露領 浦潮斯德(松田銀行部)
(二)貨幣交換所 齊々哈爾 ブラゴウエシチエンスク ハバロフスク
右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

內科 胃腸病 診察九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七、九二〇番

音樂會番組 東京現株 大阪株式 仁川期米 [illegible]

國境横斷旅行（四五）

延長二十里の山火事 二三萬町歩燒枯さる
火田の火が延燒して
途中虎肉の鋤燒を食ふ約束で獵師と同道して延岩を出發す

鍾城から惠山鎭へ　特派員　伊藤韓堂

延岩に著いた翌日の夕方、突然一人の男が尋ねて來た。高橋金三といふ咸興の獵師で記者が國境方面旅行の途に就いた事を聞いて甲山迄同行すべく、途中から追懸けて漸く蒼坪迄來て見れば、記者は既に出發後であつたので更に後を追うて來る內に虎の糞と足跡を見付けたので山中を捜し廻つたが竟に遭遇するに至らず捜索を中止して來たのであるさうな。記者の馬にも劣らぬ貧弱な馬を一頭牽ゐて居つた。獐や鹿の皮を山程積み手には猛獸狩の二連發を携帶して居る。途々

茂山嶺の中腹（豆滿江西頭水の上流）

虎の肉の鋤燒 でも食ひませう…と笑ひながら廿一日の朝、同行して出發した。土地の人は可成り溫いと云ふ。だけれども寒暖計は三度に下つて手綱把る手はヅクヅクする如だ。思ひ設けぬ話相手が出來て道は捗取るが猛獸を追廻すことを生業として居る高橋獵師の足の速いのには閉口だ。記者も平地なら二時間に三里づゝは優に歩き得る脚を持つて居るが山坂に懸ると到底獵師の敵でない。

西頭水も上流 に進むに伴れて水は溢れ橋は落ちて、何處を何う歩いたら善いのやら見當が立たぬ處がある。二里餘りも來ると伐木小屋が一軒あつて伐木が縱一杯積み重ね半ばは土窟の如な小屋に鮮人夫が三四人焚火しながらワロ發行の筏節を唄つて居る。江畔には百尺にも達しさうな柳や楡の樹が鬱々と茂つて其の間に杉松や落葉松が蓊々と聳えて居るが山は悉く大正三年の山火事で燒き枯らされて宛も既に葬送した

冬の木立を望 見するかに見ゆる此の山火事は延長二十里に亘つて二三萬町歩も燒き枯らされ附近家に大損害を與へたのであるが當時十日間許りは數十里に亘つて煙つたさうである。其の原因に就いては今に明確に判つて居らないが火田を作る爲めに火を放つたのがツイ延燒して斯く山を荒したのであらうとの推斷である。夫れ以來火田は一層嚴重に取締られ今日では殆ど其の犯行を見なくなつた。一種類の樹木が繁茂して居ると

山火事の時に 延燒し易いのであるさうだが豆滿江流域は落葉松の純林が多い爲めに此の損害を大にしたのである。

延岩、三峯を經くしたのである。延岩、三峯の中央で唯一の部落だといふ人家三戸の南陽坪まで來ると天候俄に一變し忽ち濃霧が立ち罩めて延岩まで見えなく成つて來た。立往生を餘儀なくせしめられ花火として居ると少時にして

濃霧は霽れた が今度は雨が降つて來た。急ぎ急いで三峯に到著すると雨はクロヽと霽れて水嵩增した急湍に村の者等が簗を下げて居る。魚はサンチヨニー（ヤモメか）といふて素敵に皮の厚い魚である。

空前の大判決
二百餘名を一束にして言渡す
被告は殆んど學生ばかり　法院構內人の山を築く

騷擾學生の判決　（上）判決如何と心配顔の親兄弟　（下）言渡しを受けて出て來た被告

本年三月一日より五日に亘り京城其他各地に騷擾を惹起せしめ國憲を紊亂せんとしたる

不逞鮮人 一派二百四十二名に對し六日午前九時半より京城地方法院第七號法廷に於て判決言渡しがあつた午前九時と係累應の朝鮮獨立運動に加擔しなるや拘束中の被告は監獄より或は自動車或は馬車にて第七號法廷に

陸續到著 傍聽の米人及び鮮人約三十名が來席し西大門監獄大野看守長以下警官監視等嚴めしく居並べば軈て田中部長以下係官出廷し直ちに開廷となる。田中部長は被告の一部分宛へ順次通譯を介して被告の罪狀を一々朗讀し適法律に照し

同情ある 宣告を與へた第一回の拘束者百十名全部に云ひ渡を終つたのが午後二時で被告の中には意外に寛大なる判決に感激の瞳を光らせて居たものもあつた、未だ斷髮もせぬ頑固らしい老被告の流石にうなだれて再び編笠に

手錠を箝め られ悄然として監獄へ送らるゝのもあつた。法院構內は今日の判決が如何なるか心配顔に並ぶ被告の知己や一目なりと被告に逢ひたいと云ふ妻子眷族が押すな／＼で人の山を築き制止の係官も聲を潤らすと云ふ有様從つて

警戒物々 しく神崎鍾路署長も午頃には構內を一廻りしてゐた午後二時半からは更に同法廷で保釋中の被告百四十一名に對し前同樣判決言渡しがあつたが一時に斯く多數の被告に判決を言渡すなどは全く朝鮮始まつて以來

空前の事 で內地にも未だ嘗て例のない事であらう當日の判決中主なるもの左の如し

懲役三年李鍾麟、張㻯鍵▲二年朴老英、張致煥、朴承玉▲一年六月尹益善、梁在順、朴秀璜▲一年一月尹愿三外三名▲一年金炳璣外十七名▲十月金庶寛外十二名▲八月金百鎬外十六名▲六月其殘餘

內地人巡査 大餘り
當分募集せぬ
國友警務課長談

各道に於ける憲兵隊からの事務引繼は五日に到著の電報を以て最後とし愈警察官署の完備を見るに至つたが之と共に警察官講習所に於ても亦五日に卒業式を擧行し百七十一名の巡査を咸鏡北道及び平安南北兩道に配置することになつたので茲に全く所要の人員を充實し、目下九百四十二名の內地人巡査の過剩を生じ居る位であるから今後當分は警察官の募集をしない筈である。

一件記錄 三萬枚
十四回の公判でヤツト解決
田中裁判長談

今日判決を言渡した被告は殆んど學生連中である巨魁孫秉熙以下は目下高等法院で處理される筈であるが今日の被告は其の殘り全部と云へる從つて本件記錄は本院の分だけでも

約一萬枚 檢事及び警察側の分は一萬五千餘枚に達して居る本件が九月十五日に豫審から廻附されて以來係官一同は晝夜兼行食事を廢して努力を續け九月廿五日其第一回公判を開廷し爾後十四回の公判と二十三人の辯護人を煩はした結果今日

漸く判決 を見るに至つた次第である其公判始末書のみでも二千餘枚に及び判決謄本は三百餘枚證據として押收したものが四百六十三點の多數に及んだ數字から見ても本件が如何に尨大であるかを示してゐる、刑を量定する上に就いては各自の心事を參酌したのは勿論であるが

獨立新聞 其他の不穩文書を印刷したものに對しては出版法違反として重く單に附和雷同した萬歲組は其將來の考も聞いて可成輕く處斷した先づ之で本件も一段落を告げました本件被告を學校別にすると京城醫學專門學校の卅二名を筆頭に京城高普が廿九名、普成高普校中央學校工業專門の三校が十三名宛、セブランス聯合醫專、京城專修、朝鮮藥學、培材高普の四校が十名宛で普成商業、中東、徽新、延禧、梨花其他五校の學生も居る

最も不穩 不遜を極めた生徒は男子ではセブランス醫專京城高普の二校で女子では梨花學堂であらう之を宗敎別にすると百廿人は耶蘇敎で其の大部分は長老派に屬するもの

本社の爲兵營解放
家庭の主婦の學ぶべき點
婦人見學團前記
歸途には無線電信所見學

新兵の入營期も近づいた。讀者諸君の家庭から可愛い子を兵營に送られる方もありませう。或は親戚故舊の子弟の入營を見送られる方もありませう、是等の方々が先づ知りたいのは

兵營の內部 です奈何な處で起き伏しするのか、甚麼食をたべるのか一日をどうして暮すのか中には不安に堪へない方もありませう。本社では斯うした御婦人の爲め本年最終の婦人見學團を組織して兵營を見學する事に致しました。軍司令部でも師團司令部でも本社の擧を賛し、當日は

特に便宜を 圖り兵營の中を赤裸々に見せて下さるさうです。私共の見度いのは中隊兵卒の起居動作です、其給養の状態です。規律正しい生活には其處に學ぶべき餘いものがあり

猫の額程の お臺所でさへ亂雜にして整頓出來ぬ主婦が澤山あるではありませんか、縫工場靴工場では工卒がどんな具合に作業してゐるか、其のお針の樣子も女として見たい一つではありませんか。次に酒保は一兵卒が一日の勞苦を忘れる唯一の娛樂場です。茲には

美しい怡樂 が溢れてゐます。殊に見學の要あるは炊事場です。何千人の炊事一蒸氣炊爨の有樣は見てゐて愉快ですどんな米を食べてゐるかはお臺所を覗けば直分ります。私共はかうした兵營內の見學をしてかたい

人を救け難 い事もありません。私共は學び度いのは被服倉庫の整頓振りは我々家庭で是非學ばねばなりません。何千何萬とある新品古品の被服が如何にこじんまりと整頓されてあるか、其一目瞭然たる整頓振りは家庭の主婦として知らなければならぬ事です。

傷病兵の應急手當は家庭に於ても必要です、應急手當を知らないばかりにみすく

む事を……

五九郎一座
八日限打揚

黄金館の曾我廼家五九郎一座は本社の後援以來益々人氣加はり昨夜も亦大入滿員の盛況を呈したるが同一座は來る九日迄黄金館に於て開演の豫定のところ次興行地青島への便船の都合上八日限り京城を打揚げ九日一日だけ仁川に於て興行する事となりたり五九郎一座の如き粒の揃つた喜劇は今後と雖も滅多に見られまじくまだ觀ぬ人は此機を逸せず本社の優待券を利用せられむ事を……

十五萬圓詐取
美人を囮にして
十七名共謀の惡事

被害者は慶北の資産家で白衛

大邱府丹町四三番地金昌鎬（三）同北內町二〇番地吳允執（三）本町一丁目二九番地兩班裴世貞（三）京城府敎義洞一五五番地兩班金洛永（三）同清進洞兩班文秉琦（三）同公平洞一五四番地金明元（三）同都染洞一白（三）同清進洞鍾路三丁目一番地韓興默（三）同觀水洞李兩班鄭昌燮（三）同鍾路三丁目同清進洞妓生朴蘭香大邱府京町二丁目許仁奎（三）京城府黄金町一丁目申元熙（三）住所不詳李奉烈（三）京城高陽警察署刑事朴熙大同鍾路警察署刑事金玉德同金樂生等十七名は共謀の上慶北軍威郡缶溪面梅谷洞金漢詳（三）が白衛にして資産十五萬圓以上を有するを奇貨とし大邱府京町二丁目許仁奎の娘許瓊姬及び妓生朴蘭香の兩名を囮に使ひ數回に渉り約十五萬圓を詐取したる事發覺し大邱警察署の手に檢擧され取調の末身柄は檢事局に送られたり

黄金館開演中
喜劇界の名物（一枚二人通用）
五九郎一座
京日讀者優待券
普通入場料　特等二圓　一等一圓五十錢　二等一圓　三等七十錢
割引入場料　特等一圓　一等七十錢　二等四十錢　三等三十錢
京城日報社

演藝

▲喜樂館　本日より新映畫と差替（毎日晝夜開演）▲寶冠『米津對劍橋ボートレース』の實況▲大滑稽『マックスの大自險』全二卷▲社會劇『正義の鬪』全五卷▲舊劇『佐原の喜三郎』全六卷右の中『正義の鬪』はドロシー、ケリー、ジエムス、モリソン氏の出演にて運命の與へた成功と人間の弱小なる生活とを暗示した社會劇であり舊劇『佐原の喜三郎』は俠客の美しい半面と悲しい半面とを寫したもので松之助の扮する喜三郎の面目躍如たるものがあらう

▲大正館　本日より特選新映畫差替へ▲實寫『白衛將』▲ニコ／＼劇『寢鳥』全二卷▲人情劇『火の海』全六卷▲舊劇『宇都宮釣天井』全五卷右の中『火の海』は米國活動界に其人ありと知られたる早川雪洲青木鶴子が兩主人役となり名優フランクボーザ氏等と共に櫻島噴煙の實況を背景に用ひ趣味の豐かな人と日本人を主人公として日本を舞臺に採つただけに興味が深い。

◎妙心寺講心會　長沙洞妙心寺別院にては五日より九日まで每夜午後七時より十時迄講心會を修行し渡邊會員の垂範あり

朝鮮情話
戀の李文姬（四）
波瀾疊々たる半生涯
水草の如く流轉して

國境のクイン

明治四十三年春四月、鴨綠江の氷解けて、岸の楊柳漸く芽に煙る頃、或る朝新義州の棧橋に一人の艶たき女が立つた。淡紅色紋緞子の鮮服を著て、鶸色の被衣をS巻ながら、或る朝新義州の棧橋に一人の艶たき女が立つた。淡紅色の綾羅を纏つた艶やかな姿は總ての人の視線を集めた。輪廓のはつきりした顔、表情に富んだ明眸、何處如何なる血の繋がる朝鮮の貴族の愛娘かと人の怪しみ眺むるも無理はない鴨の羽根にも似た大江の水に映つた姿は昔の神佐吳姬の精かとも思はれ

待ちがてら「美人ですなア」「何處の女でせう」「日本の藝妓を着せたら、よく似合ひませうぜ」などと囁き合つた

こかうする間に渡航會社の石油發動船は解纜の汽笛を鳴らした。人が爭つて入るやうに鳴らした。人が爭つて入る中に交つて彼女も船室に這入つた。常には臭い暗い船室も此時のみは明るかつた。彼女は極め

て巧な日本語を以て、鴨江山の花の樣子を、傍の女に尋ねたりしたそして紫のオペラバックの中から巻莨を出して、靜かに柔かな煙を薫らせた。

女は云ふ迄もなく李文姬である。李文姬が新義州の料亭明月に身を寄せて抱へられて來て間もない時であつた。

初戀の人N騎兵中尉と分れ其の年の冬突然姿を晦ました李文姬は此年此月此日鴨綠江畔に其の姿を現はしたのである其の數年間を何處にどうして暮して居たか李文姬が鴨綠江畔に其の艶麗な姿を現はした時はもう心は羊の如き優しい少女では無かつた人と語るにも耳の根を染める程純な女では無かつた。あらず、あらず、彼が心は非常に荒んでゐた。喉彼の心には幸福の影も誇りも虚榮心より外に何物も持たなかつた。胸の底に咲く戀の花は既に凋んでゐた。是には深い仔細が無ければならない

彼女は鄕里江界郡江山洞の家を出奔してから平壤に走り、義州に彷徨した。お七は戀しい吉三に逢はむが爲めに身も家も燒き、清姬は蛇と化した。李文姬はN騎兵中尉をいとしい、恋しいと參らす蛇に化した男のなまれ逢ひに涙の泉を涸らしてしまつたのである。

新義州に李文姬の艶麗な姿が現はれてからは日本人の紳士も鮮人の紳士も顔色が無かつた。深く契つた男もいつか李文姬の許に通ふやうになつて李文姬は日鮮人商賈の羨望の的となつた新義州の紳士は爭つて彼女の媚びと愛を求めやうとした。一度び李文姬の噂を聞いた安東縣の男は夜密に鴨綠江を渡つて通つたものである。

此時！李文姬に戀慕されたる一人の紳士あり、其の戀の波は義州裁判所の檢事にして姓は日、名は？………

狀烈な演習 を見せてから打揃つて新練兵場に至り、特科隊の戲き次に軍用無線電信所に參ります、無線電信の送信受信の狀況は一々詳しく係官が說明して下さいますからよく分ります、軍隊が斯うして解放して吳れる好機は容易にありません、奧さんもいらッしやい、お孃さんも、いらつしやい、お婆さんも、お女中も。

此の好機を 逸しては再び求める譯には參りません、見學團に加はり給ふ人は十四日の午前九時迄に歩兵第七十九聯隊の營門前にお集まりを願ひます、新龍山三角地停留場で降りたら、もう營門は直見ゆます

淋病患者の福音
新藥エルモールの發見　富士製藥會社の名譽

■男子の淋病　又は若い青年の出來心から、一寸花柳界に遊んだ間の交際上、四五日目から何だか妙にムヅ痒い樣な心地がして又時々蟻が這ふ樣な痛さも感じ、次第に黄色の膿が出て來る、該は小便を催すが其のした跡が何でもまれる程痛い、これが急性淋病の症狀である。それを外聞が惡いと治療せずに捨て置くと何時しか痛みが薄らぎ膿も少くなり素人目には殆ど全快した樣な心地になるが酒を飲むとか時候の變り目などには又元の急性淋病の樣に再發して來て非常に苦しむこれを慢性淋病と云ふ

■女子の淋病　女子の淋病即ち俗に云ふ消渇は男子の淋毒が感染して起る病氣だが男子のそれ程痛みは烈しくない、只膿や下り物を見、非常に寒けがして腰が冷る、これが段々進んで女の命を奪ふ所の恐ろしい子宮病になるのである、故に夫が全快しても、もう妊娠する事能はず離緣された冷な家に一生を泣いて暮す事になる、故に、もし夫が妻に傳染せしめた場合は夫婦同時に治療するがよい。夫婦がお互に秘密にして別々に治療してゐるとが全快しても妻から傳染し、妻が治つても又夫から傳染して何時まで經つても全快せず立派な慢性にして仕舞ふ事になる

■慢性の危險　慢性淋病程困つた病氣はない。自分では殆ど全快した氣でゐるから平氣で相手に傳染させるし、ウッカリ、膿が手に付いて眼に入れば一夜にして盲目になる風眼を起し足の關節に淋毒が廻れば跛、睾丸の不具者となる、殊に男子の淋毒が內行して睾丸炎を起せば苦しさ痛さは筆紙の盡し能はざる所、幸ひに其が全快しても最早妻をして懷妊せしむる事能はず、先祖の祭も絕たれて仕舞ふのである此の恐るべき慢性患者でも左記新藥の發見を幸ひ此際一日も早く之が根治を計るべきである。

■療法の比較　現今の淋病の療法に三種ある。其一は洗滌療法でよく專門醫院で行はれるが不熟練な醫師が行ると彼の恐るべき淋菌を段々奧の方に追込む危險がある況んや素人が洗滌するのは絕對に避けねばならぬ其二は注射療法で學理としては最新のものであるが未だ研究中のもので効果は確實すべきでない其三は服藥療法で危險なく最も安全であるが其効果遲緩にして一箇月も二箇月も服藥せねば全治せしむる事が出來なかつたのは甚だ遺憾であつた

■新藥の發明　そこで富士製藥會社の研究室にて幹部の醫學博士藥學士以下一同が熱心研究の結果淋病の新藥エルモールと云ふを發見した。動物試驗の結果は僅々卅分時にして速効あり殺菌力強く惡作用なく理想的の治淋藥として醫界にも確認され專門醫師にドシ／＼使用されて來たこれ會社の大なる名譽である然しこれは賣藥でないから効能書が附けて一般世人に販賣する事が出來なかつたが、今度右新藥を錠劑として賣藥發許を受け一般に賣出したのである。故に今度は醫師に掛らずとも此の効能顯著の治淋藥を飲み自宅に於て秘密に人知れず治療する事が出來る樣になつた。尤も右エルモール錠は藥力峻烈であるから服藥後一時間後に更にフジコールと云ふ藥を飲んで之を緩和せしめる等に至るまで最新の醫學を應用し恰も專門病院に入院して治療する樣に至れり盡せりの療法が自宅で出來る樣になつたのは同會社の特色である

▲メイルオーダー部の特色であるエルモール錠百個入（略二週間分）金二圓八十錢同フジコール同一式大て正價は三圓四十錢でありますから合計四圓八十錢であります是非この四圓八十錢分をお勸めする次第です勿論普通の淋病は此四圓八十錢分で全治するが、然しどうしても全快せぬ程頑固な慢性患者の爲に前記藥の外更に富士三十一號治淋藥を添へるかくて三藥併用すれば如何な慢性淋病でも一週間以內に全治する事が出來る其代價は僅か金十二圓にて提供するから極慢性の方は初めから之を用ゐるが御利益である

■御注文の方法　御注文の方法は振替貯金又は郵便爲替にて藥價御送金次第說明書を添へ直ちに發送致します又ハガキにて御注文下さつても一日も早く服藥を要しますから代金引替にて御送付致します

藥價の代金引替に依らず直ちに御送り致します御注文は四千三百四十五號京城日報にて御注文下されば代金引替にて直に送りますが此場合電報又はハガキ宛エフ○ナニムラナンパンチナンノタレ富士製藥會社宛フジコール錠御注文の際は電報料も御送り下さい

其下に御住所氏名御注文品名を明記し淋病藥の御注文は匿名でも差支ありません。何故ならば通信は總て秘密に扱ひますから

簡單な手續で誰れにでも出來る病を簡易に秘密に迅速に治療せしむる事が出來ますお刺身を食べても酒を飲んでも少しも差支へない無責任な賣藥に惑はされ御試みあれ非常に一度は此新藥を御試みあれ

東京神田小川町四四
富士製藥株式會社
振替東京一二八○三四番
電話神田一二八○番

拂下公告
一、木造瓦葺平家弐間建三棟外五件
右來ル十一月十日午前十一時入札ス
希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ラレタシ
京城府

店員入用　希望者自筆履歷書携帶來談あれ

活字　初號より七號に至る各號約六百貫及手引活版機械讓渡し度し
十六頁寸延　京城長谷川町電話二七五
近澤洋紙店

朝鮮總督府遞信局
購買組合指定店
和洋雜貨販賣　京日代理部

京日案內
一回前金　普通七十錢　番外一圓（姓名）二十錢
▲申込後中途掲載中止は料金不返還▲六回以上の申込に限り特に割引の廣告▲照會は返信料に非ざれば回答せず
電話と勸業債券賣入　光化門通　坂本　電話六八○番

給仕小使募集
內地人　希望者は自筆履歷書携帶直接本人來談せられたし
東洋拓殖株式會社京城支店

看護婦及見習
數名至急入用
仁川　佐藤病院

女社員招聘
內地人　給料月收廿五圓以上本人來談
京城黄金町二丁目　日華生命支部

轉居
京城貞洞式番地　城北督敎會青年會横チ上リ左手
森重作

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製標本調製鳥獸毛皮買入
京城本町二丁目電話長一二○六番
江州屋本店

年金恩給　長期低利日曜不問即時
金融御立替可致候▲京城永樂町二丁目
西本願寺表門下角

賣買問屋
セメント空樽、石油空瓶、容器類…電話ブローカー
京城府元町一丁目電話四一六番
田中商店

ほねつぎ　くじき　うちみ
一切の治療御依賴に應ず
明治町　柔術道場

時計職工入用　手當優遇
京城南大門通り三丁目
希望者は本人來談又は文通
明時堂時計店

濁酒賣出し
開業十周年の祝意を表し清酒共に特別勉强可仕候
龍山　丸三酒店
電話二○三

小貸家　住宅向家賃四拾圓以內
御通知の方へは相當の謝禮可仕候
市內古市町三五　水口

藥劑師募集
男女　希望の方は履歷書携帶來談あれ
京城西小門町　薬局
電話八五番　中丸病院

給仕小使　各一名
內地人入用
京城鍾路通　日本組合員
希望者は直接來談あれ
火災保險會社出張所

貸家
永樂町二丁目日本延平屋六疊二疊
家賃永樂町二十九番地共　六圓五十錢
方は永樂町二九五商會へ

小店員　拾六七歲五名募集
來談の休日を與ふ但し夜間通學せしむ
太平通貳丁目九四　萩野出張所

女給仕募集
年齡十八歲以上のもの
希望者は履歷書携帶來社ありたし
黄金町壹丁目　三井物產株式會社

夜の蜘蛛　江見水蔭

「十七」　挿畫　近藤紫雲

其處へ這つた女給仕が、伯の分のホツトウヰスキーを持運んだ。

『あら入らつしやい』

此家で一番古い顏で、又一番拙い顏で、一番能く辯じるのである。

『タンク、何うした』と水上伯は此女を呼んだ。偉大なる臀部の馬力は幾度か椅子を乘潰すので、誰呼ぶとなく定連はタンクで通してゐる。當人もそれで兎に角納まつてゐる。

『ちよいと、貴郎方、お手やわらかに願ひますわ。新規の娘を苛めるもんぢや無いわ』と云ひつゝ、空椅子に掛けた。

『別に苛めた譯ぢやア無いが、少々取調べたのでね』と伯は云つた。

『小糸さんに似てゐるといふのでせう。先つきから度々そんな問題が出たんですよ』

『でも、小糸よりは初心だ。小糸より器量も上だね』

『その代り年は下ですわ』

『無論通つて來るんだらうな』

『はア、家の女中は皆んな通ひですわ』

『何處だい。あの龍ちやんの家は……』

『何でも麴町の方ですわ。三宅坂で電車を降りて。少し歩くのですッて……』

『ぢやア三宅坂で待伏せしてれば捕まへる事が出來るな』

『厭ですよ。既う、目を附けてゐらッしやるわ』

『こいふ譯ぢやア無いんだが、まア物の順序が然うぢやア無いか』

『お止しなさいよ。未だ馴れないんですから……折角來たのに懲りさして了つて、來なく成るとお困りますわ。手が足り無い處なんですから』

『然うさね。小糸も既うゐなく成るだらうしね』

『あら、小糸さんがゐなく成る?如何して貴郎は知つてるらッしやるの』

『知つてゐる譯が有るんだ』

『あら然うですか。偉いわね。實は、今、帳場の方へ電話が掛つて來まして、親が病氣だから當分來られないッて……』

『親が病氣とは滑稽だ』

日立も口を尖らしながら。

『ホー親が病氣?』

タンクは、それでも平氣なもので。

『あら、誰だつて暇を取る時は然ういふわよ。小糸さんに限らないわ』

『や、其處まで徹底してゐれば好い〳〵』と日立は嬉しがつた。

水上伯は急に思ひ著いて。

『一體その小糸は、何處から電話を掛けたのだらう』と眞面目に問ひ掛けた。

『それは分りませんわ。あの人の事ですから、乾と變な處から掛けたのでせう。何んだか大層酔つてゐるやうで、口の利き方がゾンザイで、丸で人間が違つてゐる樣だッて、帳場でも驚いてゐるましたわ』

『なアに、それが生地なんで、此處にゐる間が猫を冠つてゐたのだ』

『然うでせうか』

『惜い事をしたね。それが分つて見ると、直ぐ此方から押し掛けて行つて、彼女をキユツと云はしてやるんだが……』

『あら、何か尻尾でもお押へなさつたの』

『彼女は大變な毒婦なんだ』

『おや、然うでせうか』

『お前なんか感じが鈍いから、有難瓦斯に接してゐても分るまいがね……實は、お前も知つてゐる或る紳士が、今日酷い目に遭つたのだ。併しその被害の程度と、その紳士の名とは、其人の名譽の爲に發表は出來ないがね。餘りに遣り方が酷過ぎるから、何とか復讐して遣らうと思つてゐるんだがね』

『ぢやア、お待ちなさいよ。そんな事なら、一寸調べて來ますわ。お帳場で見當が著くかも知れませんから……』

タンクは動き出した。間も無く戻つて來て。

『分りました。淺草ださうです。一度電話が掛つて來た時に、帳場に支配人がゐなかつたものですから、それでは後に淺草のいこへ一寸掛けて呉れッて、取次いだ子供に頼んで置いたさうですから……』

『やつこ?鰻屋だな。好し、それでは直ぐに之から其所へ行かう』

水上伯は威勢好く椅子から立上つた。

『あら、今、後の御料理が來ますわ』

『そんな物は如何でも好い。さア日立君も附合つて呉れ給へ。直ぐ自動車で驅附けよう』

日立も慌だしく椅子から離れて。

『これは面白く成つて來た。行きませう〳〵』と云ふ拍子に、卓子下に寢てゐた獵犬の尾を踏んだので、ウーと唸られた。日立吃驚して。

『や、犬がゐますね。これも連れて行きますか』

水上伯も之には困つて。

『銃と犬とには困るけれど、まア好い。途中で何處かへ預けるとしよう』

大急ぎで二人は銀線カフェーを立ち出でた。

京城本町五丁目電話二三三七
鯛ちり よせ鍋　權平庵
終日入湯の設備あり

鍼灸　玄鍼　藤井百太郎
入院　濟生堂
隨意　本町三丁目

京染　悉皆
蒲團　乾度御氣に召す新柄著
京城本町三電三〇六八　あらき屋

日報歌壇
白鈴詩社詠草

赤部　光三
桔梗咲き女郎花咲き鷄頭咲きまことに淋し秋の世の秋
秋の夜を畑より歸りし弟の著物は露にぬれゐたりけり
詩もすがら二百十日の大風になびきてやまぬ竹林かな

彼上　正雄
丘高く立てる風車の音すなり外は風强し幼子入れよ
岩かどに我が下りたてば沖のかた帆船は今ぞ岬を廻る

晩山　香果
驟雨つなげる支那人町の此の夕べカンテラの灯の霧ぬれに見ゆ
畑の土匂ひひろごるあけぼのに朝日子に向ひわれ一人立つ

北　月夫
なりなりは杉の梢をどよもして過ぐる風あり夜の深みな
谿底のあかさき啼く下りゆきてぶさ聞きにけるほとゝぎすかな

美沙山　てふ路
さびしさや秋さりにけむ吹く風は早やうそ寒くなりにける哉
早も來て啼ける鳥あり朝霧もいまだ晴れぬこゝの木原に

藤島　宏
水源地の森を汽笛の鳴り渡り部落々々路に風の舞ひ立つ
部落々々のま晝を鷄の啼き交ひて折々近く鷄なく聞ゆ

草野　露彦
わが路傍は生きの姿に倒れゐてあかさきかけて風なきにけり
こゝにまた犬の倒れし家ありてコスモスの庭あれゐたりけり
嵐過ぎ月ほがらかに照り渡りつばらに聞けば砧の音はも

國田　菖園
にはとりの聲のさやけさ露深きこの農場の朝草みかも
夜をくだち蟲啼きしづむ外廊下月のあかりに草の揺らぐ見ゆ
まさびしく啼く夜蟬かも月のよき空にして見ゆひとむれの雲

新刊紹介

▲裏と表(浪六著)　浪六氏獨特の輕快なる筆にて例の勞働問題を骨子として其の裏面に起る種々の趣味ある出來事を綴りて一篇の小說となしたるものなり美人の電話交換孃、教育ある職工、雇主その他之れに關聯せる百般の人物を配合して回は一回より興味を增すべき近來の快著なり(一圓八十錢、東京日本橋本石町至誠堂)

▲詩數(創刊號)　田中智學師主宰の新らしき宗教雜誌にして大家の執筆に成る深遠なる宗教上の論議を初め痛快なる日蓮主義を宣傳せる幾多の趣味ある記事及び謠曲、長唄、脚本その他の興味津々たる讀み物も多し(七十錢、東京下谷櫻木町一師子王文庫)

▲民本評論(一の五)　現代を說いて長風兄に與ふ(長鉄生)逗子に蘆花先生を訪ふ(長風)小說的三政治家(到星樓山人)資本家勞働者の覺醒を促す(旅雛學人)松花江畔の朝鮮民族(長風)其他(三十錢、東京小石川區雜司ヶ谷一二五其社)

▲隨隅集(一八〇)　五拾錢、東京市麻布區仲之町一一隨筒吟社

▲道德的帝國の原理(杉森孝次郞著、熊崎良武譯)　杉森氏の英國に於て出版し好評を博したる書を邦譯したるものなり、緒論、實際的判斷に於ける二要素(良心と共功利)人生の一方面(內的の世界と外的の世界)人生の二つの根本的衝動(防と愛)部分と全體(人格的價値と社會的秩序)新社會の必要(結論)等すべて人生問題の根本義を論究して實際的判斷を下へる有益なる議論なり(二圓五十錢東京麴町三番町二八冬夏社)

▲電氣界(一四三)　參拾五錢、大阪市北區若松町電界社

▲名古屋商業會議所月報(一九)　名古屋市名古屋商業會議所

▲南滿洲[illegible]領地事情概要　非賣品　拓殖局

▲蒼ざめたる馬(青野季吉譯)　露國內相たりしサヴヰンコフ氏の原著を趣味ある筆にて譯したるものにて蓋し露西亞文學の粹なるべし露國獨特の人情風俗は遺憾なく此の編に於て窺はる(一圓五十錢、東京麴町三番町二八冬夏社)

▲上海公論(創刊號)　上海を中心とせる支那の時事問題及び事業界現勢、社會文藝に亘りて汎く網羅せる有益なる雜誌なり(五十錢、上海崑山路一號其社)

▲內外活動寫眞雜誌(一の一二)　賑やかにして面白き活動寫眞雜誌なり(三十錢、東京赤坂一ツ木五六一八展社)

夜寄の領分

▲總督府官邸では盛大なる祝賀會が行はれたが市民一般の奉祝の日には何故行はれないのであるか[illegible](デモ生)▲[illegible](府民)▲[illegible](青蛇生)▲大和武士君に云ふ君の思想は二時代前のである現代に武士的氣概等は必要無いのである[illegible]

將棋新手合　完

飛落　△京城　溝呂木光治(六段)　於京城黄金町三丁目二三五
▲龍山　村　玉吉(二段)
(圖は前號指了迄の局面)
△持駒溝呂木氏金銀桂歩四

讀み方

△六六桂▲五五金△三三銀▲四四銀△三二金▲五一玉△八四角▲六一玉△七四桂▲迄にて溝呂木氏之勝

溝呂木六段講評

▽本局は下手方序に於て急激なる策戰を採り爲に上手方をして深み指し良き局面なりしが一五角の悪手を指せし爲に陣形傾れて圍むるに困難なる局となり時下手方は徐々に陣地を整へて後に攻勢に出べきを直ちに攻撃せしに上手方より稍々捨鉢の强襲に出でられし時攻防手段に二三の過誤ありし爲に遂に敗れたり

ミツワ石鹼

本邦人の皮膚毛髮の洗滌に最も適合せる

○ミツワ石鹼

大形　定價一個　金三十錢
中形　定價一個　金二十三錢
小形　定價一個　金十五錢
極小形　定價一個　金七錢

ミツワ石鹼は皮膚毛髮の美的嗜好に差異ある本邦人の化粧用石鹼に適し、毫も刺激を感ずる虞なく、適度の溶解性を備へ、能く水にも溶解し、絶對に半途に溶け崩るゝ憂なき等、浴室化粧用として衛生經濟に合致せる理想的實用品なり。

ミツワ石鹼を基礎として芳香を加味せる

○赤箱ミツワ石鹼　定價一個　金四十錢

ミツワ石鹼を基礎として精製し、皮脂の分泌量多く而も粗糙なる本邦人の皮膚及漆黑を尊ぶ毛髮の洗滌に適し、殊に特殊の芳香は極めて温雅に、浴室化粧用たるに適す、普通赤箱と稱せられ推賞せらるゝものなり。

芳香郁烈、溶解速なる理想的化粧臺用品

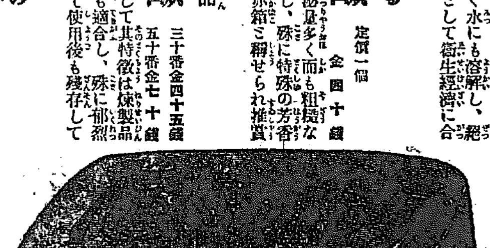
○煉製ミツワ芳香石鹼　三十番金四十五錢　五十番金七十錢

本品も亦同じく純正無比の品質を有し、然して其特徴は煉製品なるを以て溶解頗る速なれば、化粧臺用に最も適合し、殊に郁烈なる芳香料を加味せるを以て、芳氣馥郁として使用後も殘存して餘香心氣清爽たることを得るものなり。

絹綿毛織物の洗濯には最効果ある優秀の

○ミツワ洗濯石鹼　大形　定價一個　金十五錢　小形　定價一個　金八錢

本品の特徴は綿布毛織物を洗ひ絹布を濯ぐも、毫も地質を傷むることなく、能く汚垢を落し、而も從來の如く揉み擦つて洗ふ必要なく、簡易なる特殊のミツワ洗濯法に依りて、手數と時間を省略し得るものなり。



東京　丸見屋商店

有識階級の要求に應ずる治病補助機關は

處方を公開して責任を明かにせる本邦唯一の

○ミツワ家庭藥　に限る

特長

一、處方を明記し內容を公示す。
一、處方的確にして奏効顯著なり。
一、製劑精確にして効力一定不變なり。
一、藥品純良にして中毒の危險無し。
一、容器完全にして變質の虞無し。
一、內服藥は錠劑にして服用し易し。
一、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

ミツワ家庭藥の種類、主効及定價(內地以外は關稅運賃を加ふ)

藥名	主効	容量	定價
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐・胃痛等	三十錠入・百錠入・三百錠入	拾錢・貳拾錢・五拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	三十錠入・百錠入・三百錠入	拾五錢・五拾錢・壹圓卅錢
ミツワ制酸錠	酒の過飮・惡醉・宿醉・惡心・嘔吐	百五十錠入	貳拾錢
ミツワ緩下錠	諸病に因る便秘殊に常習便秘症	三十錠入・百錠入・三百錠入	拾錢・貳拾錢・五拾錢
ミツワ止瀉錠	急性傳染病以外諸種の下痢	三十錠入・六十錠入	貳拾錢・四拾錢
ミツワ解毒錠	腸胃を防腐し腸胃病を豫防す	三十錠入・六十錠入	貳拾錢・四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔蟲等腸內寄生蟲驅除及豫防	三十錠入・六十錠入	貳拾錢・四拾錢
ミツワ清涼劑	口中清涼・神身爽宿・口中病豫防	紙盒入・壜入	拾錢・參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	三十錠入・百錠入・三百錠入	貳拾五錢・七拾錢・貳圓
ミツワ祛痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一般の祛痰	三十錠入・百錠入	拾五錢・四拾錢
ミツワ鎮咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎮咳	百錠入	壹圓卄五錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入	貳圓
ミツワ人參錠	神經衰弱・腎臟炎・精力減退等	百錠入・三百錠入	五拾錢・貳圓
ミツワ强方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入・三百錠入	七拾錢・參圓
ミツワ鎮靜錠	頭痛・不眠・癲癇等の如き神經病	百錠入	壹圓廿錢
ミツワ婦人湯藥	婦人生殖器病・貧血・所謂血の道	八十錠入	五拾錢
ミツワ婦人坐藥	白帶下・子宮內外膜炎・腟炎等	六個入	五拾錢
ミツワ治淋藥	淋疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセル十二個	壹圓五十錢
ミツワ淋疾洗滌液	淋毒性尿道炎一般に用ひらる	洗滌器附壜入	五拾錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及眼球の結膜の諸病	點眼器附壜入	拾五錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症・鼻血等	壜入	參拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	壜入	貳拾錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及口中一切の病の洗藥	百五十錠入	參拾錢
ミツワ硼酸錠	[illegible]・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入	貳拾五錢
ミツワ鎮痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	壜入	四拾錢
ミツワ蟄蟲液	蚊蚤等に螫されたる場合	壜入・大壜入	貳拾錢・五拾錢
ミツワ發毛液	脫毛並脂過多を防ぐに用ひらる	壜入	五拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・陰臭・手汗・足汗等	壜入	參拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脫・皮膚糜爛	紙盒入・大盒入	拾錢・貳拾錢
ミツワ泥膏	火傷・凍傷・毛蝨・擦過傷等	硝子器入	拾錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ痤瘡膏	痤瘡・酒渣鼻・毛瘡・白癬・頑癬等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬・疥癬・陰癬・白癬・濕疹等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ凍瘡膏	凍瘡・皮膚龜裂・皮膚皹裂・水蟲	硝子器入	貳拾錢
ミツワ痔坐藥	痔核・痔瘻・肛門裂傷等痔一切	六個入	四拾錢

醫學士　小山田　謙編
家庭治療法
四六版本文二三〇頁

本書は疾病の原因や症狀などを平易に說き、家庭にて施し得る療法を丁寧に教へたもので、醫師にかかるまでの親切な相談相手である。定價金五拾錢。但し金廿五錢(郵券代用不苦)を添へ申込あれば一冊進呈す。

ミツワ石鹼　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　ミツワ人參酒　ミツワ規那鐵葡萄酒　脈油　ドロップス　御園化粧品

發賣元　○

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、醫藥品、石鹼、香粧品、小間物問屋
登錄商標
丸見屋商店
電信略號……○ミヤ　振替口座東京七一〇番　電話浪花三〇・四四八・四九・四五〇番

大阪商船出帆

(仁川出帆)
木浦大阪行　✕安東丸　十一月六日後四時出
釜山大阪行　△大進丸　十一月九日後四時出
△三晨山丸　十一月十三日後四時出

(元山出帆)
浦潮行　宮島丸　十一月十二日後九時出
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行　安平丸　十一月六日後十二時

(大連出帆)
上海、基隆、打狗行　湖北丸　十一月六日前六時出
基隆丸　十一月廿日前四時出
內地各港出帆其他省略

歐洲行一年四回　北米行毎月二回　南米行一年四回　孟買行毎月二回　濠洲行毎月一回　南洋行毎月一回

御注意　[illegible]
大阪商船株式會社仁川支店　電話二二番・二〇番・五〇番
[illegible]

共同汽船出帆

▲秦皇島行　第二共同丸　十一月　日　午後入港　正午出帆
▲青島直行　第十一共同丸　十一月八日午後入港　十一月十日午前出帆
▲大連直行　第十六共同丸　第十三共同丸
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送大連にて青島行定期船接續荷客輸送
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目電話一七三番　野口商會
元山代理店　南大門町電話二四七番　田口回漕部
京城取次店　電二七六〇、八一二　河村運送店

朝鮮郵船出帆

大阪商船の都合に依り發著日時變更する場合有之候に付詳細は本社又は各地支店出張所代理店に御承合下度
▲鎭南浦行　城津、元山經由　平安丸　十一月　日　元山發
▲浦潮行　大阪、門司、釜山、元山經由　越後丸　十一月　日　釜山發
▲雄基行　關門、釜山各港經由　京畿丸　十一月　日　釜山發　雄基丸　十一月　日　元山發
▲元山雄基線　元山起點各港經由雄基間往復　鏡城丸　十一月　日　元山發
▲大阪行　釜山、關門、神戶經由　越後丸　十一月　日　元山發
▲關門行　各港經由　京畿丸　十一月　日　元山發　平壤丸　十一月　日　元山發
鬱陵島行　釜山發浦項及各地經由　[illegible]
▲濟州島行　[illegible]　釜山發
▲多島海行　[illegible]　木浦發
▲木浦行　仁川發各地經由　晉州丸　月　日　仁川發
▲濟州行　[illegible]　仁川發
▲鎭南浦行　仁川發　天陽丸　月　日　仁川發
▲大連行　江原丸　月　日　仁川發
本社　京城南大門通(電話長三三三)
支店　釜山、元山、仁川、木浦
其他各寄港地ニ荷客取扱店